

令和 4 年 6 月 27 日現在

機関番号：12601

研究種目：新学術領域研究（研究領域提案型）

研究期間：2016～2020

課題番号：16H06399

研究課題名（和文）思春期からの主体価値の発展過程解明

研究課題名（英文）Evolution of personalized value through adolescence

研究代表者

笠井 清登（KASAI, KIYOTO）

東京大学・医学部附属病院・教授

研究者番号：80322056

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 243,330,000円

研究成果の概要（和文）： 笠井らは日本人にも英国のパーソナルリカバリー概念が当てはまること、日本人特有の他者とのつながり、社会的規範からの解放が回復に重要であることを示した。能智らは多彩なナラティブ・データの質的分析を行い主体価値やリカバリーが社会的・対人関係的な文脈に規定されつつ持続的に変化することを示した。荒牧らは主体価値の定量的解析のための当事者研究エピソードバンクや日本語感情表現辞書を開発した。岡本は主体価値に沿った行動変容プログラムを作成し、介入前後で価値に沿った行動が増加し、うつ症状が減少したことを示した。笠井と文東は主体価値の発展過程や回復過程の脳・分子基盤をpn-TTC研究等から統合的に明らかにした。

研究成果の学術的意義や社会的意義

主観的ウェルビーイングは、生活への満足、気分としての幸福感、人生に意味や目的を見出すことなどの複合的な状態であり、健康、社会、経済のさまざまな分野で重要なアウトカムとなっている。しかし、ウェルビーイングは一人ひとりに個別化された主観的なものであるがゆえに、どのように実現するかについての科学的アプローチの考案は容易ではない。

本研究では、文理の枠を超えた専門的技術を結集し、主体価値を発展させ、主観的ウェルビーイングを実現していく過程の統合的解明を推し進め、主体価値という心理学的構成概念をウェルビーイングという主観的アウトカムに接続させるといった目的を達成した。

研究成果の概要（英文）： Kasai et al. showed that the British concept of personal recovery applies to Japanese, and that freedom from Japanese-specific connections with others and social norms are important for recovery. Nouchi et al. conducted a qualitative analysis of a wide variety of narrative data and showed that subject value and recovery change continuously and are defined by social and interpersonal contexts. Aramaki et al. developed a participant research episode bank and a Japanese emotional expression dictionary for quantitative analysis of subject value. Okamoto created a behavior change program in line with subject values, and showed that value-oriented behaviors increased and depressive symptoms decreased after the intervention. Kasai and Bundo synthesized the brain and molecular basis of the development and recovery process of subjective values from pn-TTC studies and others.

研究分野：精神神経科学

キーワード：思春期 主体価値

1. 研究開始当初の背景

背景 主観的ウェルビーイング (**subjective well-being**) は、生活への満足、気分としての幸福感、人生に意味や目的を見出すことなどの複合的状態 (**Stephoe et al., Lancet, 2015**) であり、健康、社会、経済のさまざまな分野で重要なアウトカムとなっている。発達・加齢のライフコースにおいて一人ひとりがウェルビーイングをいかに高め、低下を防止するか、それにより結果として社会の精神的豊かさをいかに高めるかが国際的課題である。たとえば英国では、その課題は **Foresight Project** として探求されている (**Beddington, Nature, 2008**) ほか、ウェルビーイングを科学的に取り扱うことを目的に、**Well-being Institute** が設立されている。しかしながらウェルビーイングは一人ひとりに個別化された主観的なものであるがゆえに、どのように目指すかについての科学的アプローチの考案は容易ではない。

着想に至った経緯、これまでの研究成果からの発展 そこで申請者らは、個別で主観的なウェルビーイングというアウトカムをもたらす基盤としての心理学的構成概念として、「人生における長期的行動をその人らしく生じさせている個人内駆動因で、家族や社会・文化に共有されていたものが思春期を経て個人に内在化、個別化されたもの」=「主体価値」を考案した。応募者らは **H23-H27** 新学術領域研究「精神機能の自己制御理解にもとづく思春期の人間形成支援学」を通じて、「自己制御 (**self-regulation**)」という心理学的構成概念の脳基盤と思春期における形成過程を解明してきた。この成果を格段に発展させ、「潜在的に獲得された選好や行動習慣を、メタ認知・言語にもとづく自己制御という顕在的プロセスを通じて主体価値として形成・確立する。その重要なライフステージが思春期」というモデルを想定し、**A01/B01/C01** のトライアングル研究体制を組んだ。それを基盤として、主体価値という心理学的構成概念をウェルビーイングという主観的アウトカムに接続しようとするのが本計画研究である。

笠井らは、主観的なアウトカム指標である **QOL** と脳指標の対応というチャレンジングな研究を試みてきた (**Satomura & Kasai, Soc Neurosci, 2014**)。岡本らは、心理社会的介入による心理・行動の変化と脳基盤の解明を進めてきた。能智と荒牧は、ナラティブ(自分にまつわる出来事を、客観的事実としてではなく、主体価値にもとづいた体験として、言語により表現したもので、行動の主体として人間における『意味』の基盤をなす)情報の質的分析や自然言語分析的解析をそれぞれ手がけてきた。本研究では、これらの先導的な試みや専門的技術を結集し、主体価値を発展させ、主観的ウェルビーイングを実現していく過程の統合的解明に挑む。

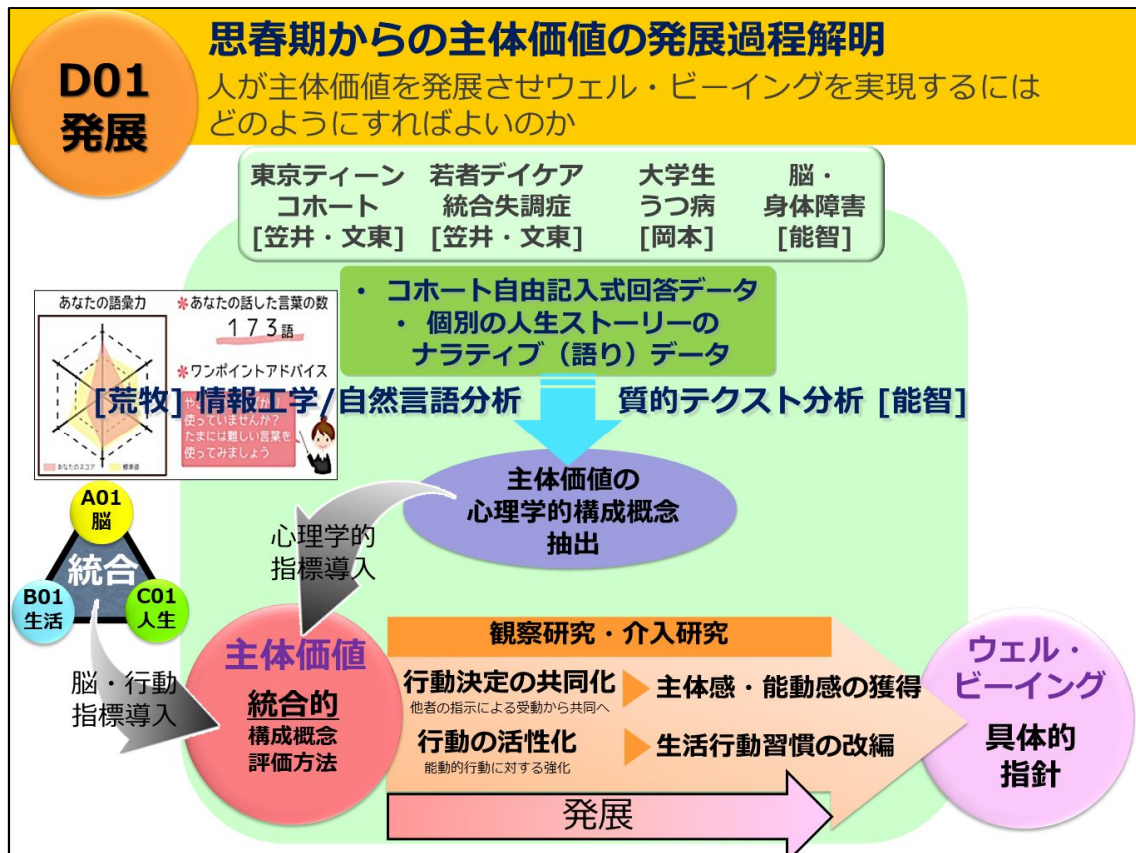
2. 研究の目的

本研究計画は、

- 1)質的分析・情報工学的解析により、主体価値の構成概念を抽出し、評価方法を確立する。
- 2)それをもとに観察研究および心理社会的介入研究を行い、主体価値の思春期からの発展過程の脳・心理基盤を統合的に明らかにする。

ことを目的とした(図1)。

図1



3. 研究の方法

1) 主体価値の構成概念の抽出

・先行する新学術領域において、東京ティーンコホートのベースライン調査[東京思春期前期(10歳時)調査(Tokyo Early Adolescent Survey; T-EAS-10; N=4,478)]、およびT-EAS-10協力世帯の社会経済指標等を一般人口に合うよう調整した東京ティーンコホート(Tokyo TEEN Cohort; N=3,171)の2年後調査(TTC-12)をほぼ終了している。これらの自由記入式質問データから、自然言語分析的解析により、主体価値の構成概念を抽出する(荒牧・笠井)。

・統合失調症などの精神疾患の当事者(笠井)、脳・神経系障害の当事者(能智)のナラティブデータの質的検討から、障害からの回復(リカバリー)の構成概念を抽出する。

2) 思春期からの主体価値の発展過程

・C01で進める東京ティーンコホートのサブサンプル(N=200)を対象に、14歳、16歳の

縦断観察研究を行い、主体価値発展の脳・心理基盤を解明する（笠井・荒牧・能智）。さらに主体価値回復過程の脳基盤を、構造MRI/resting state fMRIなどの脳計測（笠井）、唾液DNAメチル化測定（文東）との対応づけにより明らかにする。

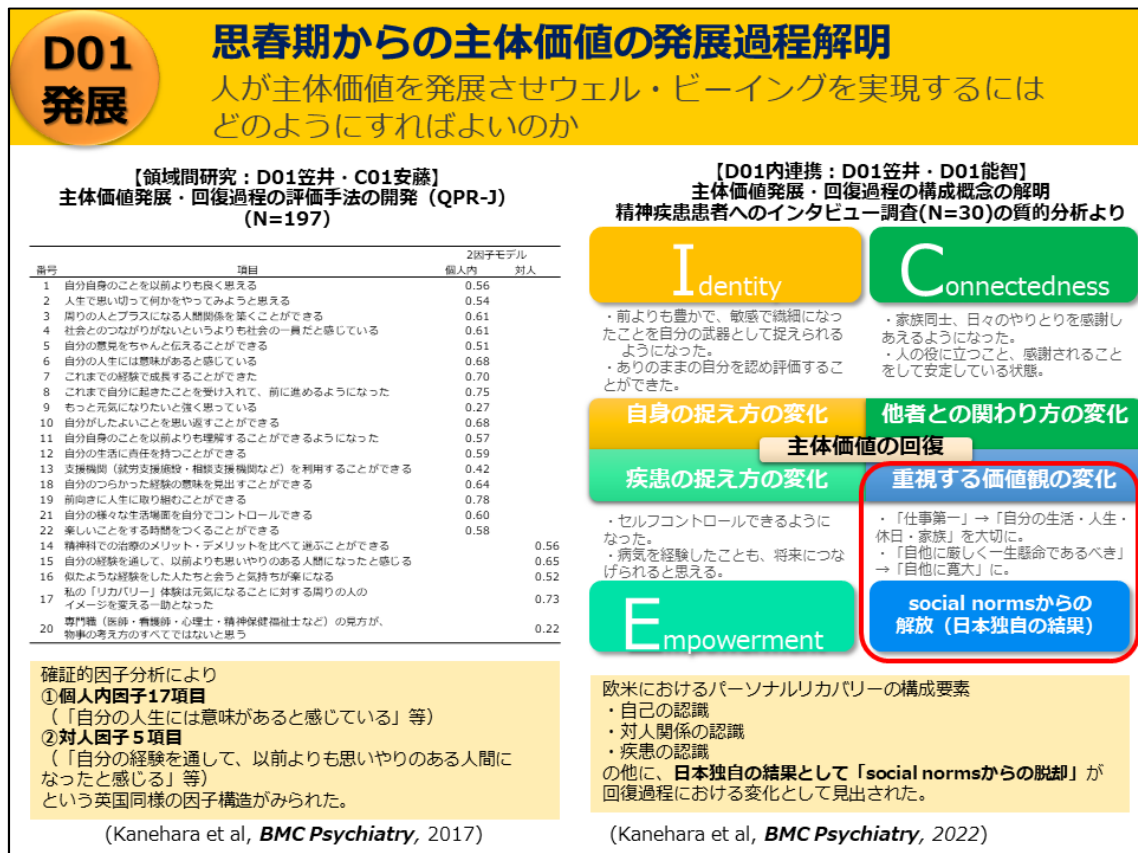
・広島大学のうつ病エピソードを満たす思春期・青年期うつ病大学生を研究対象とする。個人の主体価値に合わせた行動を増やす行動変容プログラムを作成し、少数例（数名）を対象に実効性に関する予備的検討を行う。

・うつ病大学生を対象として主体的価値に基づいた行動変容プログラムの有効性を検討する。**waiting list control**を対象とした無作為化比較試験（各群40名）を実施する。10週間の行動変容プログラム実施の前後で、心理行動課題、MRI計測を行い、思春期・青年期うつ病の回復という観点から主体価値発展の基盤や方策を検討する。

4. 研究成果

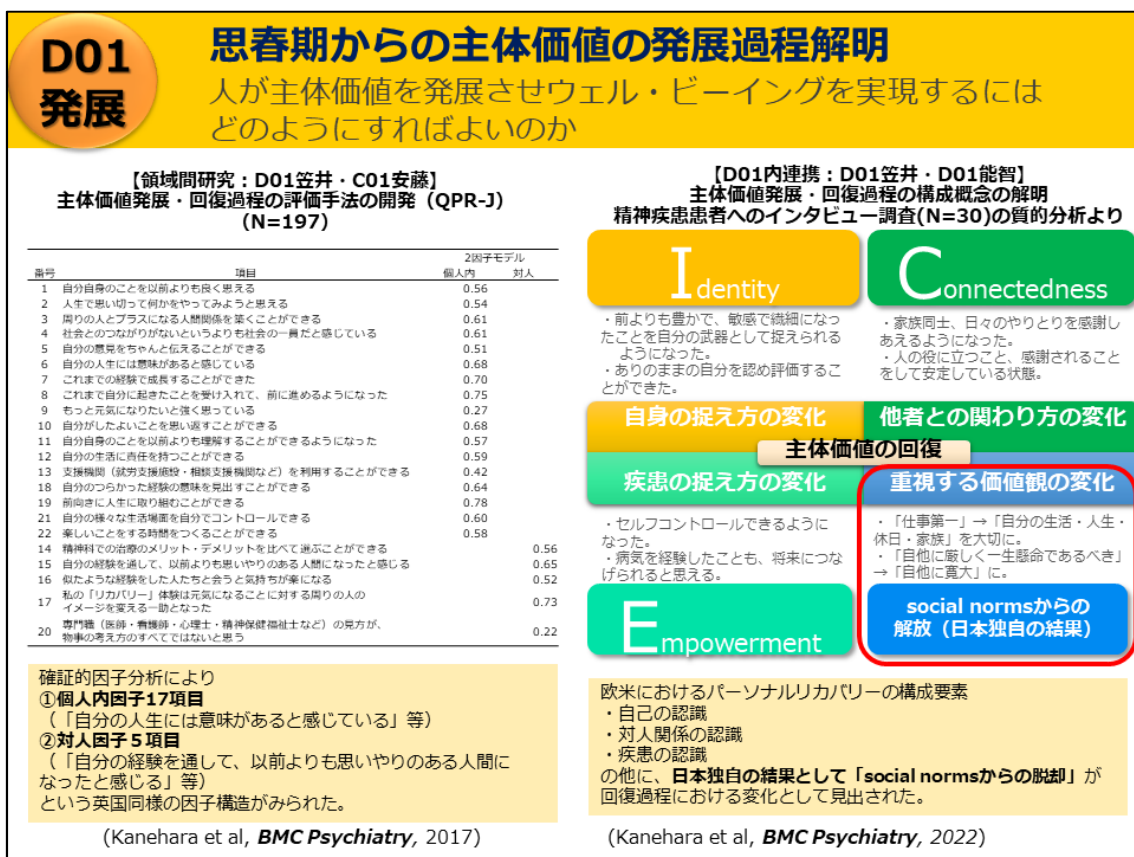
主体価値の総合人間科学的な概念構成について、笠井らは、主体価値の不調からの回復に関して、英国ノッティンガム大学のMike Slade教授との密接な連携により、日本人においても英国のパーソナルリカバリー概念が概ね当てはまることを示した（Kanehara et al., BMC Psychiatry, 2017）。一方で、日本人特有の他者とのつながり、社会的規範からの解放などが回復に重要であることを見出した（Kanehara et al., BMC Psychiatry, 2022 図2）。

図2



能智ら (2016, 2018, 2020) は、脳損傷後失語症、先天性視覚障害児、思春期後期の受傷アスリートからナラティブ・データを収集し、質的分析を行なった。その結果、「主体価値」や「リカバリー」が決して個体内だけで発生・達成されるものではなく、社会的・対人関係的な文脈に規定されながら持続的に変化することが明らかとなった。荒牧らは、語りの情報から主体価値の定量的解析を行うための当事者研究エピソードバンクや日本語感情表現辞書 **JIWC** などの開発を行なった。岡本は、主体価値に沿った生活行動の拡大と、主体価値に沿わない生活行動(回避・反すう)の減少を目的とした行動変容プログラムを作成し、思春期後期うつに対して実施した。その結果、介入前後で価値に沿った行動が増加し、行動に対する報酬知覚が増大し、結果としてうつ症状が有意に減少したことを明らかにした。また、この効果は介入後 1 年たっても持続していることを示し、主体価値に基づく行動変容がうつからの回復に効果があることを示した (Takagaki et al., *Int J Cogn Ther*, 2021)。笠井と文東は、主体価値の発展過程や不調からの回復過程の脳・分子基盤について、**pn-TTC** 研究や精神疾患を対象とした研究から統合的に明らかにした (Okada et al., *Neuroimage*, 2020; 図 3 Bundo et al., *Mol Psychiatry*, 2021)。

図 3



5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計170件（うち査読付論文 150件 / うち国際共著 13件 / うちオープンアクセス 90件）

1. 著者名 笠井清登	4. 巻 46
2. 論文標題 あなたの価値観を大切にすると統合失調症の新しい理解と支援	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 精神科看護	6. 最初と最後の頁 60-65
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 笠井清登	4. 巻 46
2. 論文標題 あなたの価値観を大切にすると統合失調症の新しい理解と支援	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 精神科看護	6. 最初と最後の頁 52-58
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 笠井清登	4. 巻 46
2. 論文標題 あなたの価値観を大切にすると統合失調症の新しい理解と支援	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 精神科看護	6. 最初と最後の頁 76-83
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Endo K, Yamasaki S, Ando S, Kikusui T, Mogi K, Nagasawa M, Kamimura I, Ishihara J, Nakanishi M, Usami S, Hiraiwa-Hasegawa M, Kasai K, Nishida A.	4. 巻 17
2. 論文標題 Dog and Cat Ownership Predicts Adolescents' Mental Well-Being: A Population-Based Longitudinal Study	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health	6. 最初と最後の頁 e884
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.3390/ijerph17030884	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Sugimoto N, Nishida A, Ando S, Usami S, Toriyama R, Morimoto Y, Koike S, Yamasaki S, Kanata S, Fujikawa S, Furukawa TA, Sasaki T, Hiraiwa-Hasegawa M, Kasai K.	4. 巻 53
2. 論文標題 Use of social networking sites and desire for slimness among 10-year-old girls and boys: A population-based birth cohort study	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 International Journal of Eating Disorders	6. 最初と最後の頁 288-295
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/eat.23202	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kotake R, Kanehara A, Miyamoto Y, Kumakura Y, Sawada U, Takano A, Chiba R, Ogawa M, Kondo S, Kasai K, Kawakami N.	4. 巻 20
2. 論文標題 Reliability and validity of the Japanese version of the INSPIRE measure of staff support for personal recovery in community mental health service users in Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 BMC Psychiatry	6. 最初と最後の頁 51
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12888-020-2467-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Iijima Y, Okumura Y, Yamasaki S, Ando S, Okada K, Koike S, Endo K, Morimoto Y, Williams A, Murai T, Tanaka SC, Hiraiwa-Hasegawa M, Kasai K, Nishida A.	4. 巻 80
2. 論文標題 Assessing the hierarchy of personal values among adolescents: A comparison of rating scale and paired comparison methods	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Adolescence	6. 最初と最後の頁 53-59
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.adolescence.2020.02.003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Koshiyama D, Kirihara K, Usui K, Tada M, Fujioka M, Morita S, Kawakami S, Yamagishi M, Sakurada H, Sakakibara E, Satomura Y, Okada N, Kondo S, Araki T, Jinde S, Kasai K	4. 巻 265
2. 論文標題 Resting-state EEG beta band power predicts quality of life outcomes in patients with depressive disorders: A longitudinal investigation	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Affective Disorders	6. 最初と最後の頁 416-422
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jad.2020.01.030	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Koshiyama D, Fukunaga M, Okada N, Morita K, Nemoto K, Usui K, et al.	4. 巻 Epub ahead of print
2. 論文標題 White matter microstructural alterations across four major psychiatric disorders: mega-analysis study in 2937 individuals	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Molecular Psychiatry	6. 最初と最後の頁 883-895
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41380-019-0553-7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Ozawa S, Iijima Y, Ando S, Okada N, Kawashima T, Ohta K, Yamasaki S, Kasai K, Nishida A, Nakatani H, Koike S	4. 巻 Epub ahead of print
2. 論文標題 Development of the Brief Personal Values Inventory for sense of values. Japanese Psychological Research	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Japanese Psychological Research	6. 最初と最後の頁 72-86
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/479337	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Koshiyama D, Kirihara K, Tada M, Nagai T, Fujioka M, Usui K, Araki T, Kasai K.	4. 巻 Epub ahead of print
2. 論文標題 Reduced Auditory Mismatch Negativity Reflects Impaired Deviance Detection in Schizophrenia	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Schizophrenia Bulletin	6. 最初と最後の頁 e
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/schbul/sbaa006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sasabayashi D, Takayanagi Y, Takahashi T, Katagiri N, Sakuma A, Obara C, Katsura M, Okada N, Koike S, Yamasue H, Nakamura M, Furuichi A, Kido M, Nishikawa Y, Noguchi K, Matsumoto K, Mizuno M, Kasai K, Suzuki M.	4. 巻 Epub ahead of print
2. 論文標題 Subcortical Brain Volume Abnormalities in Individuals With an At-risk Mental State	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Schizophrenia Bulletin	6. 最初と最後の頁 in print
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/schbul/sbaa011	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sawada K, Sakakibara E, Kanehara A, Koike H, Suga M, Fujieda Y, Miyamoto Y, Fukuda M, Kasai K	4. 巻 74
2. 論文標題 Is Utena's Brief Objective Measures (UBOM) useful in real-world behavioral assessment of functioning? Validity and utility testing in patients with schizophrenia.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Psychiatry and Clinical Neurosciences	6. 最初と最後の頁 40-48
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/pcn.12929	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Murata Y, Fujii A, Kanata S, Fujikawa S, Ikegame T, Nakachi Y, Zhao Z, Jinde S, Kasai K, Bundo M, Iwamoto K	4. 巻 39
2. 論文標題 Evaluation of the usefulness of saliva for DNA methylation analysis in cohort studies	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Neuropsychopharmacology Reports	6. 最初と最後の頁 301-305
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/npr2.12075	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Zhao Z, Jinde S, Koike S, Tada M, Satomura Y, Yoshikawa A, Nishimura Y, Takizawa R, Kinoshita A, Sakakibara E, Sakurada H, Yamagishi M, Nishimura F, Inai A, Nishioka M, Eriguchi Y, Araki T, Takaya A, Kan C, Umeda M, Shimazu A, Hashimoto H, Bundo M, Iwamoto K, Kakiuchi C, Kasai K	4. 巻 9
2. 論文標題 Altered expression of microRNA-223 in the plasma of patients with first-episode schizophrenia and its possible relation to neuronal migration-related genes	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Translational Psychiatry	6. 最初と最後の頁 289
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41398-019-0609-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ando S, Nishida A, Yamasaki S, Koike S, Morimoto Y, Hoshino A, Kanata S, Fujikawa S, Endo K, Usami S, Furukawa TA, Hiraiwa-Hasegawa M, Kasai K	4. 巻 Vol. 48, No. 5
2. 論文標題 TTC Scientific and Data Collection Team: Cohort Profile: The Tokyo Teen Cohort study (TTC)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 International Journal of Epidemiology	6. 最初と最後の頁 1414-1414g
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/ije/dyz033	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nakanishi M, Yamasaki S, Endo K, Ando S, Morimoto Y, Fujikawa S, Kanata S, Takahashi Y, Furukawa TA, Richards M, Hiraiwa-Hasegawa M, Kasai K, Nishida A	4. 巻 14(9)
2. 論文標題 The association between role model presence and self-regulation in early adolescence: A cross-sectional study	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 PLOS ONE	6. 最初と最後の頁 e0222752
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0222752. eCollection 2019.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nakamura M, Takahashi T, Takayanagi Y, Sasabayashi D, Katagiri N, Sakuma A, Obara C, Koike S, Yamasue H, Furuichi A, Kido M, Nishikawa Y, Noguchi K, Matsumoto K, Mizuno M, Kasai K, Suzuki M	4. 巻 269
2. 論文標題 Surface morphology of the orbitofrontal cortex in individuals at risk of psychosis: a multicenter study	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 European Archives of Psychiatry and Clinical Neuroscience	6. 最初と最後の頁 397-406
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00406-018-0890-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Koshiyama D, Kirihara K, Tada M, Nagai T, Fujioka M, Usui K, Koike S, Suga M, Araki T, Hashimoto K, Kasai K	4. 巻 208
2. 論文標題 Gamma-band auditory steady-state response is associated with plasma levels of d-serine in schizophrenia: An exploratory study	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Schizophrenia Research	6. 最初と最後の頁 467-469
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.schres.2019.02.012	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Okada N, Ando S, Sanada M, Hirata-Mogi S, Iijima Y, Sugiyama H, et al.	4. 巻 73
2. 論文標題 Population-neuroscience study of the Tokyo TEEN Cohort (pn-TTC): Cohort longitudinal study to explore the neurobiological substrates of adolescent psychological and behavioral development	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Psychiatry and Clinical Neurosciences	6. 最初と最後の頁 231-242
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/pcn.12814.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Murata Y, Ikegame T, Koike S, Saito T, Ikeda M, Sasaki T, Iwata N, Kasai K, Bundo M, Iwamoto K	4. 巻 99
2. 論文標題 Global DNA hypomethylation and its correlation to the betaine level in peripheral blood of patients with schizophrenia.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Progress in Neuropsychopharmacology & Biological Psychiatry	6. 最初と最後の頁 109855
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.pnpbp.2019	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Murata Y, Fujii A, Kanata S, Fujikawa S, Ikegame T, Nakachi Y, Zhao Z, Jinde S, Kasai K, Bundo M, Iwamoto K	4. 巻 39
2. 論文標題 Evaluation of the usefulness of saliva for DNA methylation analysis in cohort studies.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Neuropsychopharmacology Reports	6. 最初と最後の頁 301-305
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/npr2.12075	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Okada N, Ando S, Sanada M, Hirata-Mogi S, Iijima Y, Sugiyama H, et al.	4. 巻 73
2. 論文標題 The population-neuroscience study of the Tokyo TEEN Cohort (pn-TTC): a cohort longitudinal study to explore the neurobiological substrates of adolescent psychological and behavioral development.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Psychiatry and Clinical Neurosciences	6. 最初と最後の頁 231-242
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/pcn.12814	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 渡邊理紗、岩本和也	4. 巻 272
2. 論文標題 精神疾患とepigenetic age	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 医学のあゆみ	6. 最初と最後の頁 57-60
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 黒木遼太、文東美紀、岩本和也	4. 巻 19
2. 論文標題 メチローム解析	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 分子精神医学	6. 最初と最後の頁 154-155
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 菅原裕子、村田唯、池亀天平、嶋永翔太、竹岡優将、齋藤竹生、池田匡志、吉川茜、西村文親、河村代志也、垣内千尋、佐々木司、岩田仲生、橋本衛、笠井清登、加藤忠史、文東美紀、岩本和也	4. 巻 121
2. 論文標題 統合失調症と双極性障害における共通のDNAメチル化変化	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 精神神経学雑誌	6. 最初と最後の頁 251-258
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mori A, Kl?bl M, Okada G, Reed M, Takamura M, Michenthaler P, Takagaki K, Anna Handschuh P, Yokoyama S, Murgas M, Ichikawa N, Gryglewski G, Shibasaki C, Spies M, Yoshino A, Hahn A	4. 巻 13
2. 論文標題 Predicting ventral striatal activation during reward anticipation from functional connectivity at rest.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Frontiers in Human Neuroscience	6. 最初と最後の頁 289
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnhum.2019.00289	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 高垣耕企・神人 蘭・横山仁史・岡本泰昌	4. 巻 50
2. 論文標題 大学生の閾値下うつとうつ病に対する 広島大学での取り組み(広島大学元気プロジェクト)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 心と社会	6. 最初と最後の頁 82-88
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 神人 蘭・中川敦夫・吉永尚紀・小川 成・高垣耕企	4. 巻 12
2. 論文標題 不安とうつに対する実証的な介入研究とエビデンスに基づく実践	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 認知療法研究	6. 最初と最後の頁 79-87
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 神人 蘭・高垣耕企・香川英美・吉野敦雄・岡本泰昌	4. 巻 61
2. 論文標題 マインドフルネス療法は他の精神療法と何が違うのか？行動活性化からみたマインドフルネス	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 精神医学	6. 最初と最後の頁 663-670
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 能智正博	4. 巻 11
2. 論文標題 質的研究の評価をどう考えるか APAスタンダードを素材として	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 質的心理学フォーラム	6. 最初と最後の頁 43-53
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 能智正博	4. 巻 11
2. 論文標題 「障がいの語り」を読む	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 N: ナラティブとケア	6. 最初と最後の頁 19-35
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 堀内多恵・能智正博	4. 巻 19
2. 論文標題 受傷アスリート男性の競技離脱経験をめぐる語り 本人の認識する復帰に焦点を当てて	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 質的心理学研究	6. 最初と最後の頁 83-102
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shibata D, Ito K, Nagai H, Okahisa T, Kinoshita A, Aramaki E	4. 巻 13 (2)
2. 論文標題 Idea density in Japanese for the early detection of dementia based on narrative	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 PLoS One	6. 最初と最後の頁 e0208418
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0208418	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nishioka M, Bundo M, Ueda J, Yoshikawa A, Nishimura F, Sasaki T, Kakiuchi C, Kasai K, Kato T, Iwamoto K	4. 巻 4(1)
2. 論文標題 Identification of somatic mutations in monozygotic twins discordant for psychiatric disorders.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 NPJ Schizophrenia	6. 最初と最後の頁 7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41537-018-0049-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nishioka M, Bundo M, Ueda J, Katsuoka F, Sato Y, Kuroki Y, Ishii T, Ukai W, Murayama S, Hashimoto E, Nagasaki M, Yasuda J, Kasai K, Kato T, Iwamoto K	4. 巻 72(4)
2. 論文標題 Identification of somatic mutations in postmortem human brains by whole genome sequencing and their implications for psychiatric disorders	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Psychiatry and Clinical Neurosciences	6. 最初と最後の頁 280-294
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/pcn.12632	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takagaki K, Okamoto Y, Jinnin R, Yokoyama S, Yoshino A, Kagawa F, Okamoto Y, Miyake Y, Yamawaki S	4. 巻 14
2. 論文標題 Effects of behavioral activation program without psychotropic medication treatment for depression in late adolescence: case report.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Neuropsychiatric Disease and Treatment	6. 最初と最後の頁 2159-5164
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2147/NDT.S168077	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takagaki K, Okamoto Y, Jinnin R, Mori A, Nishiyama Y, Yamamura T, Yokoyama S, Shiota S, Okamoto Y, Miyake Y, Ogata A, Kunisato Y, Shimoda H, Kawakami N, Furukawa T A, Yamawaki S	4. 巻 14
2. 論文標題 Enduring effects of a five-week behavioral activation program for subthreshold depression among late adolescents: an exploratory randomized controlled trial	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Neuropsychiatric Disease and Treatment	6. 最初と最後の頁 2633-2641
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2147/NDT.S172385	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mori A, Okamoto Y, Okada G, Takagaki K, Takamura M, Jinnin R, Ichikawa N, Yamamura T, Yokoyama S, Shiota S, Yoshino A, Miyake Y, Okamoto Y, Matsumoto M, Matsumoto K, Yamawaki S	4. 巻 4
2. 論文標題 Effects of behavioral activation on the neural circuit related to intrinsic motivation.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 BJPsych Open	6. 最初と最後の頁 317-323
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1192/bjo.2018.40	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tanaka SC, Yahata N, Todokoro A, Kawakubo Y, Kano Y, Nishimura Y, Ishii-Takahashi A, Ohtake F, Kasai K	4. 巻 8(1)
2. 論文標題 Preliminary evidence of altered neural response during intertemporal choice of losses in adult attention-deficit hyperactivity disorder	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 6703
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-24944-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Koshiyama D, Kirihara K, Tada M, Nagai T, Fujioka M, Koike S, Suga M, Araki T, Kasai K	4. 巻 195
2. 論文標題 Association between mismatch negativity and global functioning is specific to duration deviance in early stages of psychosis	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Schizophrenia Research	6. 最初と最後の頁 378-384
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.schres.2017.09.045	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sakakibara E, Takizawa R, Kawakubo Y, Kuwabara H, Kono T, Hamada K, Okuhata S, Eguchi S, Ishii-Takahashi A, Kasai K	4. 巻 8(6)
2. 論文標題 Genetic influences on prefrontal activation during a verbal fluency task in children: A twin study using near-infrared spectroscopy	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Brain and Behavior	6. 最初と最後の頁 e00980
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/brb3.980	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ando S, Nishida A, Usami S, Koike S, Yamasaki S, Kanata S, Fujikawa S, Furukawa TA, Fukuda M, Sawyer SM, Hiraiwa-Hasegawa M, Kasai K	4. 巻 238
2. 論文標題 Help-seeking intention for depression in early adolescents: Associated factors and sex differences	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Affective Disorders	6. 最初と最後の頁 359-365
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jad.2018.05.077	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kamiya K, Okada N, Sawada K, Watanabe Y, Irie R, Hanaoka S, Suzuki Y, Koike S, Mori H, Kunimatsu A, Hori M, Aoki S, Kasai K, Abe O	4. 巻 31(7)
2. 論文標題 Diffusional kurtosis imaging and white matter microstructure modeling in a clinical study of major depressive disorder	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 NMR in Biomedicine	6. 最初と最後の頁 e3938
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/nbm.3938	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Suga M, Kawakubo Y, Nishimura Y, Hashimoto K, Yumoto M, Kasai K	4. 巻 129(7)
2. 論文標題 Lack of correlation between phonetic magnetic mismatch field and plasma d-serine levels in humans	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 1444-1448
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2018.04.603	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Koshiyama D, Kirihara K, Tada M, Nagai T, Fujioka M, Ichikawa E, Ohta K, Tani M, Tsuchiya M, Kanehara A, Morita K, Sawada K, Matsuoka J, Satomura Y, Koike S, Suga M, Araki T, Kasai K	4. 巻 8(1)
2. 論文標題 Electrophysiological evidence for abnormal glutamate-GABA association following psychosis onset	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Translational Psychiatry	6. 最初と最後の頁 211
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41398-018-0261-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fujikawa S, Ando S, Nishida A, Usami S, Koike S, Yamasaki S, Morimoto Y, Toriyama R, Kanata S, Sugimoto N, Sasaki T, Furukawa TA, Hiraiwa-Hasegawa M, Kasai K	4. 巻 68
2. 論文標題 Disciplinary slapping is associated with bullying involvement regardless of warm parenting in early adolescence	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Adolescence	6. 最初と最後の頁 207-216
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.adolescence.2018.07.018	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Okada N, Yahata N, Koshiyama D, Morita K, Sawada K, Kanata S, Fujikawa S, Sugimoto N, Toriyama R, Masaoka M, Koike S, Araki T, Kano Y, Endo K, Yamasaki S, Ando S, Nishida A, Hiraiwa-Hasegawa M, Kasai K	4. 巻 8(1)
2. 論文標題 Abnormal asymmetries in subcortical brain volume in early adolescents with subclinical psychotic experiences	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Translational Psychiatry	6. 最初と最後の頁 254
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41398-018-0312-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Koshiyama D, Kirihara K, Tada M, Nagai T, Fujioka M, Ichikawa E, Ohta K, Tani M, Tsuchiya M, Kanehara A, Morita K, Sawada K, Matsuoka J, Satomura Y, Koike S, Suga M, Araki T, Kasai K.	4. 巻 128(11)
2. 論文標題 Auditory gamma oscillations predict global symptomatic outcome in the early stages of psychosis: A longitudinal investigation	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 2268-2275
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2018.08.007	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Koshiyama D, Fukunaga M, Okada N, Morita K, Nemoto K, Yamashita F, Yamamori H, Yasuda Y, Fujimoto M, Kelly S, Jahanshad N, Kudo N, Azechi H, Watanabe Y, Donohoe G, Thompson PM, Kasai K, Hashimoto R	4. 巻 202
2. 論文標題 Role of frontal white matter and corpus callosum on social function in schizophrenia	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Schizophrenia Research	6. 最初と最後の頁 180-187
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.schres.2018.07.009	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Satomura Y, Sakakibara E, Takizawa R, Koike S, Nishimura Y, Sakurada H, Yamagishi M, Shimojo C, Kawasaki S, Okada N, Matsuoka J, Kinoshita A, Jinde S, Kondo S, Kasai K	4. 巻 243
2. 論文標題 Severity-dependent and -independent brain regions of major depressive disorder: A long-term longitudinal near-infrared spectroscopy study	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Affective Disorders	6. 最初と最後の頁 249-254
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jad.2018.09.029	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nakamura M, Takahashi T, Takayanagi Y, Sasabayashi D, Katagiri N, Sakuma A, Obara C, Koike S, Yamasue H, Furuichi A, Kido M, Nishikawa Y, Noguchi K, Matsumoto K, Mizuno M, Kasai K, Suzuki M	4. 巻 -
2. 論文標題 Surface morphology of the orbitofrontal cortex in individuals at risk of psychosis: a multicenter study	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 European Archives of Psychiatry and Clinical Neuroscience	6. 最初と最後の頁 1-10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00406-018-0890-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Todokoro A, Tanaka SC, Kawakubo Y, Yahata N, Ishii-Takahashi A, Nishimura Y, Kano Y, Ohtake F, Kasai K	4. 巻 72
2. 論文標題 Deficient neural activity subserving decision-making during reward waiting time in intertemporal choice in adult attention-deficit hyperactivity disorder	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Psychiatry and Clinical Neurosciences	6. 最初と最後の頁 580-590
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/pcn.12668	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Okada N, Ando S, Sanada M, Hirata-Mogi S, Iijima Y, et al.	4. 巻 -
2. 論文標題 The population-neuroscience study of the Tokyo TEEN Cohort (pn-TTC): a cohort longitudinal study to explore the neurobiological substrates of adolescent psychological and behavioral development.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Psychiatry and Clinical Neurosciences	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/pcn.12814	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Okada N, Yahata N, Koshiyama D, Morita K, Sawada K, Kanata S, Fujikawa S, Sugimoto N, Toriyama R, Masaoka M, Koike S, Araki T, Kano Y, Endo K, Yamasaki S, Ando S, Nishida A, Hiraiwa-Hasegawa M, Edden RAE, Barker PB, Sawa A, Kasai K	4. 巻 9
2. 論文標題 Neurometabolic and functional connectivity basis of prosocial behavior in early adolescence.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 732
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-38355-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Morishima R, Ando S, Araki T, Usami S, Kanehara A, Tanaka S, Kasai K	4. 巻 273
2. 論文標題 The course of chronic and delayed onset of mental illness and the risk for suicidal ideation after the Great East Japan Earthquake of 2011: A community-based longitudinal study	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Psychiatry Research	6. 最初と最後の頁 171-177
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.psychres.2018.12.151	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ando S, Usami S, Matsubayashi T, Ueda M, Koike S, Yamasaki S, Fujikawa S, Sasaki T, Hiraiwa-Hasegawa M, Patton G, Kasai K, Nishida A	4. 巻 14(3)
2. 論文標題 Age relative to school class peers and emotional well-being in 10-year-olds.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 PLoS One	6. 最初と最後の頁 e0214359
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0214359	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 藤野陽生、住吉チカ、安田由華、山森英長、藤本美智子、福永雅喜、三浦健一郎、竹林佑人、岡田直大、磯村周一、河野直子、豊巻敦人、久我弘典、磯部昌憲、大矢一登、岡久祐子、高木学、橋本直樹、加藤正樹、鬼塚俊明、上野雄文、大沼徹、笠井清登、尾崎紀夫、住吉太幹、井村修、橋本亮太、COCORO	4. 巻 120(4)
2. 論文標題 統合失調症患者における認知機能障害の推定：多施設共同研究	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 精神神経学雑誌	6. 最初と最後の頁 255-261
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kiyoto Kasai & Masato Fukuda	4. 巻 3
2. 論文標題 Science of recovery in schizophrenia research: brain and psychological substrates of personalized value	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 npj Schizophrenia	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41537-017-0016-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kasai K, Ando S, Kanehara A, Kumakura Y, Kondo S, Fukuda M, Kawakami N, Higuchi T	4. 巻 4
2. 論文標題 Strengthening community mental health services in Japan.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Lancet Psychiatry	6. 最初と最後の頁 268-270
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41537-017-0016-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 金原明子	4. 巻 261
2. 論文標題 "ガイドランス・ガイドライン 診療・支援の基本姿勢をガイドランスから学ぶ 統合失調症UPDATE - 脳・生活・人生の統合的理解にもとづく“価値医学”の最前線"	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 医学のあゆみ	6. 最初と最後の頁 953-959
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sugawara H, Murata Y, Ikegame T, Sawamura R, Shimanaga S, Takeoka Y, Saito T, Ikeda M, Yoshikawa A, Nishimura F, Kawamura Y, Kakiuchi C, Sasaki T, Iwata N, Hashimoto M, Kasai K, Kato T, Bundo M, Iwamoto K.	4. 巻 in press
2. 論文標題 DNA methylation analyses of the candidate genes identified by a methylome-wide association study revealed common epigenetic alterations in schizophrenia and bipolar disorder.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Psychiatry Clin Neurosci	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/pcn.12645	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Koshiyama D, Fukunaga M, Okada N, Yamashita F, Yamamori H, Yasuda Y, Fujimoto M, Ohi K, Fujino H, Watanabe Y, Kasai K, Hashimoto R.	4. 巻 19
2. 論文標題 Role of subcortical structures on cognitive and social function in schizophrenia.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Sci Rep.	6. 最初と最後の頁 1183
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-18950-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yoshikawa A, Nishimura F, Inai A, Eriguchi Y, Nishioka M, Takaya A, Tochigi M, Kawamura Y, Umekage T, Kato K, Sasaki T, Ohashi Y, Iwamoto K, Kasai K, Kakiuchi C.	4. 巻 72
2. 論文標題 Mutations of the glycine cleavage system genes possibly affect the negative symptoms of schizophrenia through metabolomic profile changes.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Psychiatry Clin Neurosci	6. 最初と最後の頁 168-179
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/pcn.12628	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Koshiyama D, Kirihara K, Tada M, Nagai T, Fujioka M, Koike S, Suga M, Araki T, Kasai K.	4. 巻 in press
2. 論文標題 Association between mismatch negativity and global functioning is specific to duration deviance in early stages of psychosis.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Schizophr Res	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.schres.2017.09.045	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yoshikawa A, Nishimura F, Inai A, Eriguchi Y, Nishioka M, Takaya A, Tochigi M, Kawamura Y, Umekage T, Kato K, Sasaki T, Kasai K, Kakiuchi C.	4. 巻 5
2. 論文標題 Novel rare variations in genes which regulate the developmental change in N-Methyl-D-Aspartate receptor in patients with schizophrenia	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Hum Genome	6. 最初と最後の頁 17056
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/hgv.2017.56	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Koshiyama D, Fukunaga M, Okada N, Yamashita F, Yamamori H, Yasuda Y, Fujimoto M, Ohi K, Fujino H, Watanabe Y, Kasai K, Hashimoto R.	4. 巻 in press
2. 論文標題 Subcortical association with memory performance in schizophrenia: a structural magnetic resonance imaging study.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Transl Psychiatry	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41398-017-0069-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Koike S, Satomura Y, Kawasaki S, Nishimura Y, Kinoshita A, Sakurada H, Yamagishi M, Ichikawa E, Matsuoka J, Okada N, Takizawa R, Kasai K.	4. 巻 71
2. 論文標題 Application of functional near infrared spectroscopy as supplementary examination for diagnosis of clinical stages of psychosis spectrum.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Psychiatry Clin Neurosci	6. 最初と最後の頁 794-806
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/pcn.12551	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Koshiyama D, Kirihara K, Tada M, Nagai T, Koike S, Suga M, Araki T, Kasai K.	4. 巻 190
2. 論文標題 Duration and frequency mismatch negativity shows no progressive reduction in early stages of psychosis.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Schizophr Res	6. 最初と最後の頁 32-38
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.schres.2017.03.015	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sasabayashi D, Takayanagi Y, Takahashi T, Koike S, Yamasue H, Katagiri N, Sakuma A, Obara C, Nakamura M, Furuichi A, Kido M, Nishikawa Y, Noguchi K, Matsumoto K, Mizuno M, Kasai K, Suzuki M.	4. 巻 82
2. 論文標題 Increased Occipital gyrification and development of psychotic disorders in individuals with an at-risk mental state: a multicenter study.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Biol Psychiatry	6. 最初と最後の頁 737-745
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.biopsych.2017.05.018	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kanehara A, Kotake R, Miyamoto Y, Kumakura Y, Morita K, Ishiura T, Shimizu K, Fujieda Y, Ando S, Kondo S, Kasai K.	4. 巻 7
2. 論文標題 The Japanese version of the questionnaire about the process of recovery: development and validity and reliability testing.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 BMC Psychiatry	6. 最初と最後の頁 360
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12888-017-1520-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kondo S, Kumakura Y, Kanehara A, Nagato D, Ueda T, Matsuoka T, Tao Y, Kasai K.	4. 巻 3
2. 論文標題 Premature deaths among individuals with severe mental illness after discharge from long-term hospitalization in Japan: a naturalistic observation during a 24-year period.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 BJPsych Open	6. 最初と最後の頁 193-195
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1192/bjpo.bp.117.004937	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Higuchi Y, Sumiyoshi T, Seo T, Suga M, Takahashi T, Nishiyama S, Komori Y, Kasai K, Suzuki M.	4. 巻 7
2. 論文標題 Associations between daily living skills, cognition, and real-world functioning across stages of schizophrenia; A study with the Schizophrenia Cognition Rating Scale Japanese version.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Schizophr Res Cogn	6. 最初と最後の頁 13-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.scog.2017.01.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nagai T, Kirihara K, Tada M, Koshiyama D, Koike S, Suga M, Araki T, Hashimoto K, Kasai K.	4. 巻 7
2. 論文標題 Reduced mismatch negativity is associated with increased plasma level of glutamate in first-episode psychosis.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Sci Rep	6. 最初と最後の頁 2258
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-02267-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sawada K, Kanehara A, Sakakibara E, Eguchi S, Tada M, Satomura Y, Suga M, Koike S, Kasai K.	4. 巻 71
2. 論文標題 Identifying neurocognitive markers for outcome prediction of global functioning in ultra-high-risk for psychosis and first episode psychosis.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Psychiatry Clin Neurosci	6. 最初と最後の頁 318-327
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/pcn.12522	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fujino H, Sumiyoshi C, Yasuda Y, Yamamori H, Fujimoto M, Fukunaga M, Miura K, Takebayashi Y, Okada N, Isomura S, Kawano N, Toyomaki A, Kuga H, Isobe M, Oya K, Okahisa Y, Takaki M, Hashimoto N, Kato M, Onitsuka T, Ueno T, Ohnuma T, Kasai K, Ozaki N, Sumiyoshi T, Imura O, Hashimoto R; for COCORO.	4. 巻 71
2. 論文標題 Estimated cognitive decline in patients with schizophrenia: A multicenter study.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Psychiatry Clin Neurosci	6. 最初と最後の頁 294-300
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/pcn.12474	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Morita K, Miura K, Fujimoto M, Yamamori H, Yasuda Y, Iwase M, Kasai K, Hashimoto R.	4. 巻 71
2. 論文標題 Eye movement as a biomarker of schizophrenia: using an integrated eye movement score.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Psychiatry Clin Neurosci	6. 最初と最後の頁 104-114
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/pcn.12460	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Itaru Miura, Yasuto Kunii, Mizuki Hino ¹ , Hiroshi Hoshino, Junya Matsumoto, Keiko Kanno-Nozaki, Sho Horikoshi, Haruka Kaneko, Miki Bundo, Kazuya Iwamoto, Hirooki Yabe	4. 巻 in press
2. 論文標題 DNA Methylation of ANKK1 and Response to Aripiprazole in Patients with Acute Schizophrenia: A Preliminary Study	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Psychiatric Research	6. 最初と最後の頁 84-87
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jpsychires.2018.02.018	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sugawara H, Murata Y, Ikegame T, Sawamura R, Shimanaga S, Takeoka Y, Saito T, Ikeda M, Yoshikawa A, Nishimura F, Kawamura Y, Kakiuchi C, Sasaki T, Iwata N, Hashimoto M, Kasai K, Kato T, Bundo M, Iwamoto K	4. 巻 in press
2. 論文標題 DNA methylation analyses of the candidate genes identified by a methylome-wide association study revealed common epigenetic alterations in schizophrenia and bipolar disorder	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Psychiatry and Clinical Neurosciences	6. 最初と最後の頁 245-254
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/pcn.12645	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Murata Y, Bundo M, Sunaga F, Kasai K, Iwamoto K.	4. 巻 in press
2. 論文標題 DNA methylation profiling in a neuroblastoma cell line exposed to the antipsychotic perospirone	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Pharmacopsychiatry	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1055/s-0044-101467	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shimada-Sugimoto M, Otowa T, Miyagawa T, Umekage T, Kawamura Y, Bundo M, Iwamoto K, Ikegame T, Tochigi M, Kasai K, Kaiya H, Tanii H, Okazaki Y, Tokunaga K, Sasaki T	4. 巻 63
2. 論文標題 An epigenome-wide methylation study of healthy individuals with or without depressive symptoms.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Human Genetics	6. 最初と最後の頁 319-326
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s10038-017-0382-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Maekawa M, Watanabe A, Iwayama Y, Kimura T, Hamazaki K, Balan S, Ohba H, Hisano Y, Nozaki Y, Ohnishi T, Toyoshima M, Shimamoto C, Iwamoto K, Bundo M, Osumi N, Takahashi E, Takashima A, Yoshikawa T*.	4. 巻 7
2. 論文標題 Polyunsaturated fatty acid deficiency during neurodevelopment in mice models the prodromal state of schizophrenia through epigenetic changes in nuclear receptor genes.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Translational Psychiatry	6. 最初と最後の頁 e1229
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/tp.2017.182	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 能智正博	4. 巻 100
2. 論文標題 グラウンデッド・セオリー	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 臨床心理学	6. 最初と最後の頁 556-557
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 能智正博・園部愛子・片山皓絵・横山克貴・眞柄翔太	4. 巻 40
2. 論文標題 “見る”に関わる先天性盲児の言語使用の発達 療育場面の縦断的な映像記録の質的分析から	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 東京大学大学院教育学研究科紀要	6. 最初と最後の頁 62-69
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yokoyama, S., Okamoto, Y., Takagaki, K., Okada, G., Takamura, M., Mori, A., Shiota, S., Ichikawa, N., Jinnin, R., Yamawaki S.	4. 巻 227
2. 論文標題 Effects of behavioral activation on default mode network connectivity in subthreshold depression: a preliminary resting-state fMRI study.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Affective Disorders	6. 最初と最後の頁 156-163
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jad.2017.10.021	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shiota, S., Okamoto, Y., Okada, G., Takagaki, K., Takamura, M., Mori, A., Yokoyama, S., Nishiyama, Y., Jinnin, R., Hashimoto, R., Yamawaki	4. 巻 28
2. 論文標題 The neural correlates of the metacognitive function of other perspective: a multiple regression analysis study.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Neuroreport	6. 最初と最後の頁 671-676
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/WNR.0000000000000818	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 柴田大作, 若宮翔子, 木下彩栄, 荒牧英治	4. 巻 37
2. 論文標題 音声発話による認知症スクリーニング技術の開発 - 感情表現辞書を用いた発話内容の質的分析 -	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 医療情報学	6. 最初と最後の頁 303-311
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 宮部真衣, 四方朱子, 久保圭, 荒牧英治	4. 巻 25
2. 論文標題 音声認識を用いた言語能力自動測定システム“言秤”の構築	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 自然言語処理「言語処理の応用システム」特集号	6. 最初と最後の頁 33-56
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井上隆志、熊倉陽介、安藤俊太郎、近藤伸介、笠井清登	4. 巻 47
2. 論文標題 グローバル化する世界における物語と自己	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 臨床精神医学	6. 最初と最後の頁 129-135
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 笠井清登	4. 巻 44
2. 論文標題 統合失調症の最近の進歩：病態解明と治療の進歩	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Medical Science Digest	6. 最初と最後の頁 14-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 管心、笠井清登	4. 巻 119
2. 論文標題 統合失調症患者を対象に脳磁計を用いた時間性変化と周波数変化MMNの測定と臨床応用の可能性について	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 精神神経学雑誌	6. 最初と最後の頁 889-894
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 森田健太郎、三浦健一郎、笠井清登、橋本亮太	4. 巻 17
2. 論文標題 精神疾患バイオマーカーとしての眼球運動	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 分子精神医学	6. 最初と最後の頁 177-184
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yahata N, Kasai K, Kawato M	4. 巻 71
2. 論文標題 Computational neuroscience approach to biomarkers and treatments for mental disorders	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Psychiatry Clin Neurosci	6. 最初と最後の頁 215-237
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/pcn.12502	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nakamura Mihoko, Takahashi Tsutomu, Takayanagi Yoichiro, Sasabayashi Daiki, Katagiri Naoyuki, Sakuma Atsushi, Obara Chika, Koike Shinsuke, Yamasue Hidenori, Furuichi Atsushi, Kido Mikio, Nishikawa Yumiko, Noguchi Kyo, Matsumoto Kazunori, Mizuno Masafumi, Kasai Kiyoto, Suzuki Michio	4. 巻 in press
2. 論文標題 Surface morphology of the orbitofrontal cortex in individuals at risk of psychosis: a multicenter study.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 European Archives of Psychiatry and Clinical Neuroscience	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00406-018-0890-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Aramaki Eiji, Shikata Shuko, Ayaya Satsuki, Kumagaya Shin-Ichiro	4. 巻 6
2. 論文標題 Crowdsourced Identification of Possible Allergy-Associated Factors: Automated Hypothesis Generation and Validation Using Crowdsourcing Services	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 JMIR Research Protocols	6. 最初と最後の頁 e83
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2196/resprot.5851	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Koshiyama D, Kirihara K, Tada M, Nagai T, Koike S, Suga M, Araki T, Kasai K	4. 巻 印刷中
2. 論文標題 Duration and frequency mismatch negativity shows no progressive reduction in early stages of psychosis	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Schizophrenia Research	6. 最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.schres.2017.03.015	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sawada K, Kanehara A, Eguchi S, Tada M, Satomura Y, Suga M, Koike S, Kasai K	4. 巻 印刷中
2. 論文標題 Identifying neurocognitive markers for outcome prediction of global functioning in ultra-high-risk for psychosis and first episode psychosis.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Psychiatry and Clinical Neurosciences	6. 最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/pcn.12522	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kanehara A, Ando S, Araki T, Usami S, Kuwabara H, Kano Y, Kasai K	4. 巻 2
2. 論文標題 Trends in psychological distress and alcoholism after The Great East Japan Earthquake of 2011	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 SSM - Population Health	6. 最初と最後の頁 807-812
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ssmph.2016.10.010	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sakakibara E, Homae F, Kawasaki S, Nishimura Y, Takizawa R, Koike S, Kinoshita A, Sakurada H, Yamagishi M, Nishimura F, Yoshikawa A, Inai A, Nishioka M, Eriguchi Y, Matsuoka J, Satomura Y, Okada N, Kakiuchi C, Araki T, Kan C, Umeda M, Shimazu A, Uga M, Dan I, Hashimoto H, Kawakami N, Kasai K	4. 巻 142
2. 論文標題 "Detection of resting state functional connectivity using partial correlation analysis: A study using multi-distance and whole-head probe near-infrared spectroscopy"	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 NeuroImage	6. 最初と最後の頁 590-601
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroimage.2016.08.011	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fujikawa S, Ando S, Shimodera S, Koike S, Usami S, Toriyama R, Kanata S, Sasaki T, Kasai K, Okazaki Y, Nishida A	4. 巻 11
2. 論文標題 The Association of Current Violence from Adult Family Members with Adolescent Bullying Involvement and Suicidal Feelings	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Plos One	6. 最初と最後の頁 e0163707
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0163707	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kasai K, Fukuda M	4. 巻 3
2. 論文標題 Science of recovery in schizophrenia research: brain and psychological substrates of personalized value	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 npj Schizophrenia	6. 最初と最後の頁 14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41537-017-0016-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kasai K, Ando S, Kanehara A, Kumakura Y, Kondo S, Fukuda M, Kawakami N, Higuchi T	4. 巻 4
2. 論文標題 Strengthening community mental health services in Japan.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Lancet Psychiatry	6. 最初と最後の頁 268-270
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/S2215-0366(16)30373-X	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ando S, Kuwabara H, Araki T, Kanehara A, Tanaka S, Morishima R, Kondo S, Kasai K	4. 巻 25
2. 論文標題 Mental health problems in a community after the Great East Japan Earthquake in 2011: a systematic review	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Harvard Review of Psychiatry	6. 最初と最後の頁 15-28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/HRP.0000000000000124	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 笠井 清登	4. 巻 118
2. 論文標題 リハビリの意味とその科学	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 精神神経学雑誌	6. 最初と最後の頁 744-749
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Eiji Aramaki, Shuko Shikata, Satsuki Ayaya, Shin-Ichiro Kumagaya	4. 巻 印刷中
2. 論文標題 Crowdsourced Identification of Possible Allergy Associated Factors: Automated Hypothesis Generation and Validation using a Crowdsourcing Services	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 JMIR Research Protocols	6. 最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Jinnin, R., Okamoto, Y et al	4. 巻 13
2. 論文標題 Neuropsychiatric Disease and Treatment	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Detailed course of depressive symptoms and risk for developing depression in late adolescents with subthreshold depression: cohort study	6. 最初と最後の頁 25-33
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2147/NDT.S117846	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shiota, S., Okamoto, Y et al	4. 巻 47
2. 論文標題 "Effects of behavioral activation on the neural basis of other self referential processing in subthreshold depression: An fMRI study"	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Psychological Medicine	6. 最初と最後の頁 877-888
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/S0033291716002956	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takagaki, K., Okamoto, Y et al	4. 巻 204
2. 論文標題 Mechanisms of behavioral activation for late adolescents: Positive reinforcement mediate the relationship between activation and depressive symptoms from pre-treatment to post-treatment.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Journal of Affective Disorders	6. 最初と最後の頁 70-73
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jad.2016.06.046	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shimada-Sugimoto M, Otowa T, Miyagawa T, Umekage T, Kawamura Y, Bundo M, Iwamoto K, Tochigi M, Kasai K, Kaiya H, Tani H, Okazaki Y, Tokunaga K, Sasaki T.	4. 巻 9
2. 論文標題 Epigenome-wide association study of DNA methylation in panic disorder.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Clinical Epigenetics	6. 最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13148-016-0307-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 菅原裕子、日高洋介、文東美紀、岩本和也	4. 巻 印刷中
2. 論文標題 精神ストレスとエピゲノム応答	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 最新医学	6. 最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 能智 正博	4. 巻 53
2. 論文標題 障害と自己の意味を継続的に更新する失語症の事例 20年にわたる語りの変遷から	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine,	6. 最初と最後の頁 941-944
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2490/jjrmc.53.941	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 能智正博・園部愛子・片山皓絵・横山克貴・眞柄翔太	4. 巻 40
2. 論文標題 “見る”に関わる先天性盲児の言語使用の発達 療育場面の縦断的な映像記録の質的分析から	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 東京大学大学院教育学研究科臨床心理学コース紀要	6. 最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Manabe Masae, Liew Kongmeng, Yada Shuntaro, Wakamiya Shoko, Aramaki Eiji	4. 巻 5
2. 論文標題 Estimation of Psychological Distress in Japanese Youth Through Narrative Writing: Text-Based Stylometric and Sentiment Analyses	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 JMIR Formative Research	6. 最初と最後の頁 e29500 ~ e29500
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2196/29500	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ikegame Tempei, Bundo Miki, Okada Naohiro, et al.	4. 巻 46
2. 論文標題 Promoter Activity-Based Case-Control Association Study on <i>SLC6A4</i> Highlighting Hypermethylation and Altered Amygdala Volume in Male Patients With Schizophrenia	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Schizophrenia Bulletin	6. 最初と最後の頁 1577 ~ 1586
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/schbul/sbaa075	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kuroki Ryota, Murata Yui, Fuke Satoshi, Nakachi Yutaka, Nakashima Jun, Kujoth Gregory C., Prolla Tomas A., Bundo Miki, Kato Tadafumi, Iwamoto Kazuya	4. 巻 11
2. 論文標題 Establishment of Quantitative PCR Assays for Active Long Interspersed Nuclear Element-1 Subfamilies in Mice and Applications to the Analysis of Aging-Associated Retrotransposition	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Frontiers in Genetics	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fgene.2020.519206	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nakachi Yutaka, Ishii Kazuhiro, Bundo Miki, Masuda Tomoyuki, Iwamoto Kazuya	4. 巻 40
2. 論文標題 Use of the Illumina EPIC methylation array for epigenomic research in the crab eating macaque (<i>Macaca fascicularis</i>)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neuropsychopharmacology Reports	6. 最初と最後の頁 423 ~ 426
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/npr2.12145	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ikegame Tempei, Hidaka Yosuke, Nakachi Yutaka, Murata Yui, Watanabe Risa, Sugawara Hiroko, Asai Tatsuro, Kiyota Emi, Saito Takeo, Ikeda Masashi, Sasaki Tsukasa, Hashimoto Mamoru, Ishikawa Tomohisa, Takebayashi Minoru, Iwata Nakao, Kakiuchi Chihiro, Kato Tadafumi, Kasai Kiyoto, Bundo Miki, Iwamoto Kazuya	4. 巻 11
2. 論文標題 Identification and functional characterization of the extremely long allele of the serotonin transporter-linked polymorphic region	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Translational Psychiatry	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41398-021-01242-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Bundo Miki, Ueda Junko, Nakachi Yutaka, Kasai Kiyoto, Kato Tadafumi, Iwamoto Kazuya	4. 巻 26
2. 論文標題 Decreased DNA methylation at promoters and gene-specific neuronal hypermethylation in the prefrontal cortex of patients with bipolar disorder	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Molecular Psychiatry	6. 最初と最後の頁 3407 ~ 3418
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41380-021-01079-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 岩本和也、池亀天平、文東美紀	4. 巻 272
2. 論文標題 精神疾患とエピジェネティクス : セロトントランスポーターの大規模DNAメチル化解析からの考察	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 医学のあゆみ	6. 最初と最後の頁 1212-1215
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takagaki Koki, Jinnin Ran, Yokoyama Satoshi, Mori Asako, Kambara Kohei, Okamoto Yuri, Miyake Yoshie, Kagawa Fumi, Okamoto Yasumasa	4. 巻 14
2. 論文標題 Relations Among Clinical Factors After Behavioral Activation for Subthreshold Depression	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 International Journal of Cognitive Therapy	6. 最初と最後の頁 612 ~ 622
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s41811-021-00108-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高垣 耕企、横山 仁史、神原 広平、香川 芙美、三宅 典恵、岡本 百合	4. 巻 36
2. 論文標題 カウンセリングを受けていない大学生のストレスと抑うつ症状	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 総合保健科学	6. 最初と最後の頁 9~17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15027/50080	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takagaki Koki, Ito Masaya, Takebayashi Yoshitake, Nakajima Shun, Horikoshi Masaru	4. 巻 11
2. 論文標題 Roles of Trait Mindfulness in Behavioral Activation Mechanism for Patients With Major Depressive Disorder	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Frontiers in Psychology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2020.00845	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 神人蘭・高垣耕企・横山仁史・岡本泰昌	4. 巻 増刊7
2. 論文標題 大学生の抑うつに対する行動活性化の取り組み	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 精神療法	6. 最初と最後の頁 201~206
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 横山仁史・岡本泰昌	4. 巻 46
2. 論文標題 認知行動療法の脳科学的基盤	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 精神療法	6. 最初と最後の頁 449~454
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 横山仁史・岡本泰昌・光山裕生・山脇成人	4. 巻 94
2. 論文標題 認知行動療法がdefault mode networkに与える効果	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 脳神経内科	6. 最初と最後の頁 225-229
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ihara Yuko, Son Daisuke, Nochi Masahiro, Takizawa Ryu	4. 巻 10
2. 論文標題 Work-related stressors among hospital physicians: a qualitative interview study in the Tokyo metropolitan area	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 BMJ Open	6. 最初と最後の頁 e034848 ~ e034848
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/bmjopen-2019-034848	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 江刺香奈・眞柄翔太・横山克貴・片山皓絵・広津侑実子・能智正博	4. 巻 43
2. 論文標題 障害児・者とケアする側のコミュニケーション不全は何をもたらすのか	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 東京大学大学院教育学研究科臨床心理学コース紀要	6. 最初と最後の頁 34-41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 能智正博	4. 巻 15
2. 論文標題 脳損傷者の「主体性」を考える	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 地域リハビリテーション	6. 最初と最後の頁 284-287
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 能智正博	4. 巻 12
2. 論文標題 行為としての「病いの語り」	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 質的心理学フォーラム	6. 最初と最後の頁 76-79
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Itahashi Takashi, Okada Naohiro, Ando Shuntaro, Yamasaki Syudo, Koshiyama Daisuke, Morita Kentaro, Yahata Noriaki, Koike Shinsuke, Nishida Atsushi, Kasai Kiyoto, Hashimoto Ryu-ichiro	4. 巻 219
2. 論文標題 Functional connectomes linking child-parent relationships with psychological problems in adolescence	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 NeuroImage	6. 最初と最後の頁 117013 ~ 117013
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroimage.2020.117013	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Okumura Yasuyuki, Yamasaki Syudo, Ando Shuntaro, Usami Masahide, Endo Kaori, Hiraiwa-Hasegawa Mariko, Kasai Kiyoto, Nishida Atsushi	4. 巻 25
2. 論文標題 Psychosocial Burden of Undiagnosed Persistent ADHD Symptoms in 12-Year-Old Children: A Population-Based Birth Cohort Study	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Attention Disorders	6. 最初と最後の頁 636 ~ 645
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/1087054719837746	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Koshiyama Daisuke, Okada Naohiro, Ando Shuntaro, et al.	4. 巻 220
2. 論文標題 Association between duration of breastfeeding based on maternal reports and dorsal and ventral striatum and medial orbital gyrus volumes in early adolescence	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 NeuroImage	6. 最初と最後の頁 117083 ~ 117083
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroimage.2020.117083	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fujioka Mao, Kirihara Kenji, Koshiyama Daisuke, Tada Mariko, Nagai Tatsuya, Usui Kaori, Morita Susumu, Kawakami Shintaro, Morita Kentaro, Satomura Yoshihiro, Koike Shinsuke, Suga Motomu, Araki Tsuyoshi, Kasai Kiyoto	4. 巻 11
2. 論文標題 Mismatch Negativity Predicts Remission and Neurocognitive Function in Individuals at Ultra-High Risk for Psychosis	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Frontiers in Psychiatry	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyt.2020.00770	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tada Mariko, Suda Yuki, Kirihara Kenji, Koshiyama Daisuke, Fujioka Mao, Usui Kaori, Araki Tsuyoshi, Kasai Kiyoto, Uka Takanori	4. 巻 11
2. 論文標題 Translatability of Scalp EEG Recordings of Duration-Deviant Mismatch Negativity Between Macaques and Humans: A Pilot Study	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Frontiers in Psychiatry	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyt.2020.00874	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nakamura Yuko, Okada Naohiro, Ando Shuntaro, Ohta Kazusa, Ojio Yasutaka, Abe Osamu, Kunimatsu Akira, Yamaguchi Sosei, Kasai Kiyoto, Koike Shinsuke	4. 巻 14
2. 論文標題 The Association Between Amygdala Subfield-Related Functional Connectivity and Stigma Reduction 12 Months After Social Contacts: A Functional Neuroimaging Study in a Subgroup of a Randomized Controlled Trial	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Frontiers in Human Neuroscience	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnhum.2020.00356	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yassin Walid, Nakatani Hironori, Zhu Yinghan, Kojima Masaki, Owada Keiho, Kuwabara Hitoshi, Gonoji Wataru, Aoki Yuta, Takao Hidemasa, Natsubori Tatsunobu, Iwashiro Norichika, Kasai Kiyoto, Kano Yukiko, Abe Osamu, Yamasue Hidenori, Koike Shinsuke	4. 巻 10
2. 論文標題 Machine-learning classification using neuroimaging data in schizophrenia, autism, ultra-high risk and first-episode psychosis	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Translational Psychiatry	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41398-020-00965-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Okada Naohiro, Yahata Noriaki, Koshiyama Daisuke, et al.	4. 巻 218
2. 論文標題 Neurometabolic underpinning of the intergenerational transmission of prosociality	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 NeuroImage	6. 最初と最後の頁 116965 ~ 116965
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroimage.2020.116965	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Morishima Ryo, Usami Satoshi, Ando Shuntaro, Kiyono Tomoki, Morita Masaya, Fujikawa Shinya, Araki Tsuyoshi, Kasai Kiyoto	4. 巻 11
2. 論文標題 Living in temporary housing and later psychological distress after the Great East Japan Earthquake of 2011: A cross-lagged panel model	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 SSM - Population Health	6. 最初と最後の頁 100629 ~ 100629
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ssmph.2020.100629	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hayashi Noriyuki, Ando Shuntaro, Jinde Seiichiro, Fujikawa Shinya, Okada Naohiro, Toriyama Rie, Masaoka Mio, Sugiyama Hiroshi, Shirakawa Toru, Yagi Tomoko, Morita Masaya, Morishima Ryo, Kiyono Tomoki, Yamasaki Syudo, Nishida Atsushi, Kasai Kiyoto	4. 巻 116
2. 論文標題 Social withdrawal and testosterone levels in early adolescent boys	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Psychoneuroendocrinology	6. 最初と最後の頁 104596 ~ 104596
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.psyneuen.2020.104596	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ozawa Sachiyo, Iijima Yudai, Ando Shuntaro, Okada Naohiro, Kawashima Tomoko, Ohta Kazusa, Yamasaki Syudo, Kasai Kiyoto, Nishida Atsushi, Nakatani Hironori, Koike Shinsuke	4. 巻 62
2. 論文標題 Development of the Brief Personal Values Inventory for Sense of Values	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Japanese Psychological Research	6. 最初と最後の頁 72 ~ 86
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jpr.12277	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Koshiyama Daisuke, Kirihara Kenji, Tada Mariko, Nagai Tatsuya, Fujioka Mao, Usui Kaori, Araki Tsuyoshi, Kasai Kiyoto	4. 巻 46
2. 論文標題 Reduced Auditory Mismatch Negativity Reflects Impaired Deviance Detection in Schizophrenia	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Schizophrenia Bulletin	6. 最初と最後の頁 937 ~ 946
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/schbul/sbaa006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sakakibara Eisuke, Satomura Yoshihiro, Matsuoka Jun, Koike Shinsuke, Okada Naohiro, Sakurada Hanako, Yamagishi Mika, Kawakami Norito, Kasai Kiyoto	4. 巻 12
2. 論文標題 Abnormality of Resting-State Functional Connectivity in Major Depressive Disorder: A Study With Whole-Head Near-Infrared Spectroscopy	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Frontiers in Psychiatry	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsy.2021.664859	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tada Mariko, Kirihara Kenji, Ishishita Yohei, Takasago Megumi, Kunii Naoto, Uka Takanori, Shimada Seiji, Ibayashi Kenji, Kawai Kensuke, Saito Nobuhito, Koshiyama Daisuke, Fujioka Mao, Araki Tsuyoshi, Kasai Kiyoto	4. 巻 31
2. 論文標題 Global and Parallel Cortical Processing Based on Auditory Gamma Oscillatory Responses in Humans	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Cerebral Cortex	6. 最初と最後の頁 4518 ~ 4532
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/cercor/bhab103	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sullivan Sarah, Yamasaki Syudo, Ando Shuntaro, Endo Kaori, Kasai Kiyoto, Culpin Iryna, Dardani Christina, Zammit Stanley, Nishida Atsushi	4. 巻 12
2. 論文標題 The Association Between Locus of Control and Psychopathology: A Cross-Cohort Comparison Between a UK (Avon Longitudinal Study of Parents and Children) and a Japanese (Tokyo Teen Cohort) Cohort	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Frontiers in Psychology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2021.600941	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Bundo Miki, Ueda Junko, Nakachi Yutaka, Kasai Kiyoto, Kato Tadafumi, Iwamoto Kazuya	4. 巻 26
2. 論文標題 Decreased DNA methylation at promoters and gene-specific neuronal hypermethylation in the prefrontal cortex of patients with bipolar disorder	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Molecular Psychiatry	6. 最初と最後の頁 3407 ~ 3418
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41380-021-01079-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Izumi Ryuta, Hino Mizuki, Wada Akira, Nagaoka Atsuko, Kawamura Takashi, Mori Tsutomu, Sainouchi Makoto, Kakita Akiyoshi, Kasai Kiyoto, Kunii Yasuto, Yabe Hirooki	4. 巻 12
2. 論文標題 Detailed Postmortem Profiling of Inflammatory Mediators Expression Revealed Post-inflammatory Alternation in the Superior Temporal Gyrus of Schizophrenia	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Frontiers in Psychiatry	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyt.2021.653821	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 ENIGMA Clinical High Risk for Psychosis Working Group, Jalbrzikowski Maria, Hayes Rebecca A., et al.	4. 巻 78
2. 論文標題 Association of Structural Magnetic Resonance Imaging Measures With Psychosis Onset in Individuals at Clinical High Risk for Developing Psychosis	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 JAMA Psychiatry	6. 最初と最後の頁 753 ~ 753
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1001/jamapsychiatry.2021.0638	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Koike Shinsuke, Tanaka Saori C., Okada Tomohisa, et al.	4. 巻 30
2. 論文標題 Brain/MINDS beyond human brain MRI project: A protocol for multi-level harmonization across brain disorders throughout the lifespan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 NeuroImage: Clinical	6. 最初と最後の頁 102600 ~ 102600
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.nicl.2021.102600	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Takahashi Junichi, Miura Kenichiro, Morita Kentaro, Fujimoto Michiko, Miyata Seiko, Okazaki Kosuke, Matsumoto Junya, Hasegawa Naomi, Hirano Yoji, Yamamori Hidenaga, Yasuda Yuka, Makinoda Manabu, Kasai Kiyoto, Ozaki Norio, Onitsuka Toshiaki, Hashimoto Ryota	4. 巻 41
2. 論文標題 Effects of age and sex on eye movement characteristics	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Neuropsychopharmacology Reports	6. 最初と最後の頁 152 ~ 158
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/npr2.12163	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ide Soichiro, Nakanishi Miharuru, Yamasaki Syudo, Ikeda Kazutaka, Ando Shuntaro, Hiraiwa-Hasegawa Mariko, Kasai Kiyoto, Nishida Atsushi	4. 巻 9
2. 論文標題 Adolescent Problem Gaming and Loot Box Purchasing in Video Games: Cross-sectional Observational Study Using Population-Based Cohort Data	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 JMIR Serious Games	6. 最初と最後の頁 e23886 ~ e23886
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2196/23886	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ikegame Tempei, Hidaka Yosuke, Nakachi Yutaka, Murata Yui, Watanabe Risa, Sugawara Hiroko, Asai Tatsuro, Kiyota Emi, Saito Takeo, Ikeda Masashi, Sasaki Tsukasa, Hashimoto Mamoru, Ishikawa Tomohisa, Takebayashi Minoru, Iwata Nakao, Kakiuchi Chihiro, Kato Tadafumi, Kasai Kiyoto, Bundo Miki, Iwamoto Kazuya	4. 巻 11
2. 論文標題 Identification and functional characterization of the extremely long allele of the serotonin transporter-linked polymorphic region	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Translational Psychiatry	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41398-021-01242-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 dos Santos Kawata Kelssy Hitomi, Ueno Yuki, Hashimoto Ryuichiro, Yoshino Shinya, Ohta Kazusa, Nishida Atsushi, Ando Shuntaro, Nakatani Hironori, Kasai Kiyoto, Koike Shinsuke	4. 巻 11
2. 論文標題 Development of Metacognition in Adolescence: The Congruency-Based Metacognition Scale	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Frontiers in Psychology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2020.565231	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Koike Shinsuke, Sakakibara Eisuke, Satomura Yoshihiro, Sakurada Hanako, Yamagishi Mika, Matsuoka Jun, Okada Naohiro, Kasai Kiyoto	4. 巻 -
2. 論文標題 Shared functional impairment in the prefrontal cortex affects symptom severity across psychiatric disorders	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Psychological Medicine	6. 最初と最後の頁 1~10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/S0033291720004742	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Matsumoto Junya, Fukunaga Masaki, Miura Kenichiro, Nemoto Kiyotaka, Koshiyama Daisuke, Okada Naohiro, Morita Kentaro, Yamamori Hidenaga, Yasuda Yuka, Fujimoto Michiko, Hasegawa Naomi, Watanabe Yoshiyuki, Kasai Kiyoto, Hashimoto Ryota	4. 巻 740
2. 論文標題 Relationship between white matter microstructure and work hours	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Neuroscience Letters	6. 最初と最後の頁 135428 ~ 135428
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neulet.2020.135428	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamasaki Syudo, Nishida Atsushi, Ando Shuntaro, Murayama Kou, Hiraiwa-Hasegawa Mariko, Kasai Kiyoto, Richards Marcus	4. 巻 16
2. 論文標題 Interaction of adolescent aspirations and self-control on wellbeing in old age: Evidence from a six-decade longitudinal UK birth cohort	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 The Journal of Positive Psychology	6. 最初と最後の頁 779 ~ 788
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/17439760.2020.1818809	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Tamune Hidetaka, Kumakura Yousuke, Morishima Ryo, Kanehara Akiko, Tanaka Miho, Okochi Noriko, Nakajima Naomi, Hamada Junko, Ogawa Tomoko, Nakahara Mutsumi, Jinde Seiichiro, Kano Yukiko, Tanaka Kyoko, Hirata Yoichiro, Oka Akira, Kasai Kiyoto	4. 巻 74
2. 論文標題 Toward co production of research in 22q11.2 deletion syndrome: Research needs from the caregiver's perspective	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Psychiatry and Clinical Neurosciences	6. 最初と最後の頁 626 ~ 627
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/pcn.13141	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Huang Ziyang, Endo Kaori, Yamasaki Syudo, Fujikawa Shinya, Ando Shuntaro, Hiraiwa-Hasegawa Mariko, Kasai Kiyoto, Nishida Atsushi, Koike Shinsuke	4. 巻 11
2. 論文標題 Bi-Directional Relationships Between Psychological Symptoms and Environmental Factors in Early Adolescence	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Frontiers in Psychiatry	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsy.2020.574182	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Koshiyama Daisuke, Fukunaga Masaki, Okada Naohiro, Morita Kentaro, Nemoto Kiyotaka, Yamashita Fumio, Yamamori Hidenaga, Yasuda Yuka, Matsumoto Junya, Fujimoto Michiko, Kudo Noriko, Azechi Hirotsugu, Watanabe Yoshiyuki, Kasai Kiyoto, Hashimoto Ryota	4. 巻 738
2. 論文標題 Association between the superior longitudinal fasciculus and perceptual organization and working memory: A diffusion tensor imaging study	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neuroscience Letters	6. 最初と最後の頁 135349 ~ 135349
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neulet.2020.135349	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kiyono Tomoki, Morita Masaya, Morishima Ryo, Fujikawa Shinya, Yamasaki Syudo, Nishida Atsushi, Ando Shuntaro, Kasai Kiyoto	4. 巻 1
2. 論文標題 The Prevalence of Psychotic Experiences in Autism Spectrum Disorder and Autistic Traits: A Systematic Review and Meta-analysis	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Schizophrenia Bulletin Open	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/schizbullopen/sgaa046	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Morishima Ryo, Yamasaki Syudo, Ando Shuntaro, Shimodera Shinji, Ojio Yasutaka, Okazaki Yuji, Kasai Kiyoto, Sasaki Tsukasa, Nishida Atsushi	4. 巻 293
2. 論文標題 Long and short sleep duration and psychotic symptoms in adolescents: Findings from a cross-sectional survey of 15 786 Japanese students	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Psychiatry Research	6. 最初と最後の頁 113440 ~ 113440
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.psychres.2020.113440	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamashita Ayumu, Sakai Yuki, Yamada Takashi, et al.	4. 巻 18
2. 論文標題 Generalizable brain network markers of major depressive disorder across multiple imaging sites	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 PLOS Biology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pbio.3000966	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takasago Megumi, Kunii Naoto, Komatsu Misako, Tada Mariko, Kirihara Kenji, Uka Takanori, Ishishita Yohei, Shimada Seiji, Kasai Kiyoto, Saito Nobuhito	4. 巻 11
2. 論文標題 Spatiotemporal Differentiation of MMN From N1 Adaptation: A Human ECoG Study	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Frontiers in Psychiatry	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsy.2020.00586	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sasabayashi Daiki, Takayanagi Yoichiro, Takahashi Tsutomu, Katagiri Naoyuki, Sakuma Atsushi, Obara Chika, Katsura Masahiro, Okada Naohiro, Koike Shinsuke, Yamasue Hidenori, Nakamura Mihoko, Furuichi Atsushi, Kido Mikio, Nishikawa Yumiko, Noguchi Kyo, Matsumoto Kazunori, Mizuno Masafumi, Kasai Kiyoto, Suzuki Michio	4. 巻 46
2. 論文標題 Subcortical Brain Volume Abnormalities in Individuals With an At-risk Mental State	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Schizophrenia Bulletin	6. 最初と最後の頁 834 ~ 845
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/schbul/sbaa011	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yoshihara Yujiro, Lisi Giuseppe, Yahata Noriaki, et al.	4. 巻 46
2. 論文標題 Overlapping but Asymmetrical Relationships Between Schizophrenia and Autism Revealed by Brain Connectivity	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Schizophrenia Bulletin	6. 最初と最後の頁 1210 ~ 1218
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/schbul/sbaa021	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Koshiyama Daisuke, Fukunaga Masaki, Okada Naohiro, et al.	4. 巻 25
2. 論文標題 White matter microstructural alterations across four major psychiatric disorders: mega-analysis study in 2937 individuals	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Molecular Psychiatry	6. 最初と最後の頁 883 ~ 895
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41380-019-0553-7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Murata Yui, Ikegame Tempei, Koike Shinsuke, Saito Takeo, Ikeda Masashi, Sasaki Tsukasa, Iwata Nakao, Kasai Kiyoto, Bundo Miki, Iwamoto Kazuya	4. 巻 99
2. 論文標題 Global DNA hypomethylation and its correlation to the betaine level in peripheral blood of patients with schizophrenia	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Progress in Neuro-Psychopharmacology and Biological Psychiatry	6. 最初と最後の頁 109855 ~ 109855
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.pnpbp.2019.109855	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Okada Naohiro, Yahata Noriaki, Koshiyama Daisuke, Morita Kentaro, Sawada Kingo, Kanata Sho, Fujikawa Shinya, Sugimoto Noriko, Toriyama Rie, Masaoka Mio, Koike Shinsuke, Araki Tsuyoshi, Kano Yukiko, Endo Kaori, Yamasaki Syudo, Ando Shuntaro, Nishida Atsushi, Hiraiwa-Hasegawa Mariko, Kasai Kiyoto	4. 巻 209
2. 論文標題 Smaller anterior subgenual cingulate volume mediates the effect of girls' early sexual maturation on negative psychobehavioral outcome	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 NeuroImage	6. 最初と最後の頁 116478 ~ 116478
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroimage.2019.116478	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 森田直美・金森万里子・能智正博・近藤直己	4. 巻 36
2. 論文標題 日本の在住外国人における医療アクセスが困難な人の特徴とアクセス抑制因子および効果的な支援策に関する混合研究	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 国際医療保健	6. 最初と最後の頁 107-120
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kanehara Akiko, Koike Haruna, Fujieda Yumiko, Yajima Sayaka, Kabumoto Asami, Kumakura Yousuke, Morita Kentaro, Miyamoto Yuki, Nochi Masahiro, Kasai Kiyoto	4. 巻 22
2. 論文標題 Culture-dependent and universal constructs and promoting factors for the process of personal recovery in users of mental health services: qualitative findings from Japan	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 BMC Psychiatry	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12888-022-03750-4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 横山克貴・能智正博	4. 巻 21
2. 論文標題 自己を語る人称代名詞の変化は語りの体験に何をもたらすか 二人称に着目して	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 質的心理学研究	6. 最初と最後の頁 150-168
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計193件(うち招待講演 24件/うち国際学会 31件)

1. 発表者名 荒牧英治
2. 発表標題 The study about detecting early stage dementia by natural language processing
3. 学会等名 Research Meeting on Medical and Institutional and Health talk for Social Applications (RMIH 2019) (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 荒牧英治
2. 発表標題 医療言語処理 ?これからのPatient Centricityを支援するテクノロジー?
3. 学会等名 ITヘルスケア学会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 眞鍋雅恵、喜多ことこ、綾屋紗月、熊谷晋一郎、荒牧英治
2. 発表標題 当事者研究の検索システムEPISODE BANKの構築
3. 学会等名 新学術領域「個性」創発脳 第4回領域会議
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 藤井綾香、村田唯、金田渉、藤川慎也、池亀天平、仲地ゆたか、趙治磊、神出誠一郎、笠井清登、文東美紀、岩本和也
2. 発表標題 コホート研究における唾液試料を用いたエピゲノム解析の有用性の検討
3. 学会等名 第42回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 緒方啓仁、藤井綾香、村田唯、上田順子、笠井清登、加藤忠史、文東美紀、岩本和也
2. 発表標題 抗精神病薬リスペリドン投与によるマーマセット脳組織DNAメチル化状態への影響
3. 学会等名 第42回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Iwamoto K
2. 発表標題 Epigenetic modifications and somatic mutations in neuronal genome and their implications for psychiatric disorders.
3. 学会等名 Joint Seminar "Kumamoto-Mahidol (Siriraj)-Khon Kaen Universities
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 文東美紀
2. 発表標題 精神疾患患者検体を用いたエピジェネティクス解析
3. 学会等名 日本繁殖生物学会大会シンポジウム「エピジェネティックコントロールの新展開 環境要因から人為制御まで」(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Iwamoto K, Bundo M, Kato T
2. 発表標題 Genetic and epigenetic variations of neuronal cells and their implications for psychiatric disorders.
3. 学会等名 第41回日本神経科学学会大会シンポジウム「Roles of epigenetics and inflammation in mental illness」(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 池亀天平、日高洋介、菅原裕子、村田唯、渡邊理沙、清田恵美、近藤健治、池田匡志、吉川茜、西村文親、河村代志也、垣内千尋、佐々木司、石川智久、橋本衛、竹林実、岩田仲生、笠井清登、文東美紀、岩本和也
2. 発表標題 多数例ゲノムサンプルを用いたSLC6A4 における新規5-HTTLPRの同定
3. 学会等名 第41回日本生物学的精神医学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 藤井綾香、金田渉、藤川慎也、村田唯、池亀天平、笠井清登、文東美紀、岩本和也
2. 発表標題 コホート研究での DNAメチル化解析における唾液試料の有用性
3. 学会等名 第41回日本生物学的精神医学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takagaki T, Yokoyama S, Jinnin R, Mori A, Okamoto Y, Miyake Y, Okamoto Y
2. 発表標題 What are factors that affect the sustainable effect of behavioral activation: one year follow-up survey.
3. 学会等名 The 9th World Congree of Behavioral and Cognitive Therapies (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高垣耕企・神人 蘭・横山 仁史・森 麻子・神原広平・岡本 百合・三宅 典恵・香川芙美・岡本 泰昌
2. 発表標題 ウェルビーイングに対する行動活性化の効果：RCTからの二次的解析
3. 学会等名 第57回全国保健管理研究集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 森 麻子, 岡田 剛, 岡本泰昌
2. 発表標題 うつの報酬予期障害に関する脳機能画像研究
3. 学会等名 第41回日本生物学的精神医学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 森 麻子, 岡田 剛, 高村真広, 高垣耕企, 横山仁史, 市川奈穂, 柴崎千代, 吉野敦雄, 岡本泰昌, 山脇成人
2. 発表標題 安静時脳結合による報酬予測時の腹側線条体活動予測
3. 学会等名 第41回日本生物学的精神医学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Nochi M
2. 発表標題 Understanding “Pre-narrative narratives” : Use of photographs to infer the individual ’s lived experience.
3. 学会等名 Qualitative Methods Conference 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 能智正博
2. 発表標題 心理臨床をテーマに質的研究法を学ぶ
3. 学会等名 日本心理臨床学会第38回大会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 沖潮 (原田) 満里子・能智正博・石島照代・横山克貴
2. 発表標題 障害者のきょうだいが生きる二重のライフストーリーにおける「ドミナントストーリー」の検討
3. 学会等名 日本質的心理学会第16回大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ishijima T, Nochi M & Omi Y
2. 発表標題 How are we getting pleasure from living with people with severe disabilities? : An analysis of family members narratives on their adolescence
3. 学会等名 MAXQDA International Conference 2020. (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Morishima R, Yamasaki S, Ando S, Shimodera S, Ojio Y, Okazaki Y, Kasai K, Sasaki T, Nishida A
2. 発表標題 Sleep duration and psychotic symptoms in adolescents: Findings from the population-based study.
3. 学会等名 7th BESETO International Psychiatry Conference (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 笠井清登
2. 発表標題 発達精神病理学の視点から -From the viewpoint of developmental psychopathology
3. 学会等名 SCBR (Schizophrenia Clinical and Basic Research) FORUM 2020
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 笠井清登
2. 発表標題 思春期：どう生きるかをなやみ、ためす時期
3. 学会等名 東京都医学総合研究所2019年度第8回都民講座
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 笹林大樹、高柳陽一郎、高橋努、西山志満子、水上祐子、片桐直之、辻野尚久、根本隆洋、佐久間篤、桂雅宏、大室則幸、岡田直大、多田真理子、管心、小池進介、中村美保子、古市厚志、木戸幹雄、西川祐美子、野口京、山末英典、松本和紀、水野雅文、笠井清登、鈴木道雄
2. 発表標題 At risk mental stateにおける大脳皮質厚の変化と認知機能障害との関連
3. 学会等名 第23回日本精神保健・予防学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 笠井清登
2. 発表標題 Adolescent mental health (思春期精神保健)
3. 学会等名 Mental Health × Data Science Symposium
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 笠井清登
2. 発表標題 自分の行っている支援を言葉にできていますか？
3. 学会等名 医療法人睦み会城西病院 新棟竣工記念講演会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 安藤俊太郎、山口創生、小川亮、小塩靖崇、市橋香代、近藤伸介、藤井千代、笠井清登
2. 発表標題 INDIGO READ研究の紹介と日本サイトでの実践
3. 学会等名 第115回日本精神神経学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 安藤俊太郎、西田淳志、山崎修道、笠井清登
2. 発表標題 児童思春期における微量なリチウム摂取とメンタルヘルス
3. 学会等名 第115回日本精神神経学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 笠井清登
2. 発表標題 ライフコースにおける思春期・AYA世代の意義
3. 学会等名 2019年度近未来医療フォーラム 第9回公開シンポジウム「人生100年時代、21世紀型社会を見据えたライフコースアプローチ」
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 笠井清登
2. 発表標題 人生行動科学としての精神医学
3. 学会等名 名医に学ぶセミナー
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山崎修道、安藤俊太郎、遠藤香織、小池進介、長谷川真理子、笠井清登、西田淳志
2. 発表標題 思春期発来前後での思春期精神病症状体験と自殺関連行動・抑うつ症状の関係～思春期出生コホートによるエビデンス
3. 学会等名 第14回日本統合失調症学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 臼井香、越山太輔、切原賢治、多田真理子、藤岡真生、小池進介、管心、荒木剛、笠井清登
2. 発表標題 統合失調症早期段階におけるガンマオシレーションは将来の社会適応レベルを予測する
3. 学会等名 第14回日本統合失調症学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Uematsu A, Yamasue H, Kasai K, Koike S
2. 発表標題 Investigating alternation of white matter structure in Schizophrenia using Fixel-based analysis
3. 学会等名 The 14th Annual Meeting of Japanese Society of Schizophrenia Research
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Morimoto C, Yassin W, Okada N, Yamasue H, Kasai K, Koike S
2. 発表標題 Differences of the gray and white matter volumes in the cerebellar subregions between schizophrenia and autism spectrum disorder
3. 学会等名 The 14th Annual Meeting of Japanese Society of Schizophrenia Research
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 笠井清登
2. 発表標題 人はどう生きるかの科学：思春期の子どもを対象とする主体価値発展学の研究を通して
3. 学会等名 ラジオ日経「小児科診療UP-to-DATE」
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高垣耕企
2. 発表標題 行動活性化療法の基礎研究から臨床研究：これまでの研究から本学会に期待すること（若手が期待すること、若手が期待すること）
3. 学会等名 日本認知・行動療法学会第45回大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Aramaki E, Miyabe M, Honda C, Isozaki S, Wakamiya S, Sato A, Miyashiro I
2. 発表標題 KOTOBAKARI Study: Using Natural Language Processing of Patient Short Narratives to Detect Cancer Related Cognitive Impairment
3. 学会等名 MedInfo2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Sugawara H, Murata Y, Ikegame T, Sawamura R, Sasaki T, Iwata N, Hashimoto M, Kasai K, Kato T, Bundo M, Iwamoto K.
2. 発表標題 DNA methylation analyses of the candidate genes identified by a methylome-wide association study revealed common epigenetic alterations in schizophrenia and bipolar disorder.
3. 学会等名 31st CINP World congress of neuropsychopharmacology (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 日高洋介、池亀天平、菅原裕子、清田恵美、笠井清登、石川智久、橋本衛、竹林実、文東美紀、岩本和也
2. 発表標題 5-HTTLPRのハイスループットジェノタイピング法による新規多型の同定
3. 学会等名 第28回日本臨床精神神経薬理学会・第48回日本神経精神薬理学会年会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 日高洋介、池亀天平、菅原裕子、清田恵美、笠井清登、石川智久、橋本衛、竹林実、文東美紀、岩本和也
2. 発表標題 健常者多数のジェノタイピングにおける5HTTLPR 新規多型の同定
3. 学会等名 第37回躁うつ病の薬理・生化学研究懇話会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 藤井綾香、金田渉、藤川慎也、村田唯、池亀天平、笠井清登、文東美紀、岩本和也
2. 発表標題 コホート研究でのDNAメチル化解析における唾液試料の有用性の検討
3. 学会等名 第37回躁うつ病の薬理・生化学研究懇話会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池亀天平、文東美紀、浅井竜朗、菅原裕子、近藤健治、池田匡志、吉川茜、西村文親、河村代志也、垣内千尋、佐々木司、岩田仲生、加藤忠史、笠井清登、岩本和也
2. 発表標題 SLC6A4 における新規セロトニントランスポーター遺伝子多型 (5-HTTLPR) の同定とその機能解析
3. 学会等名 第40回日本生物学的精神医学会・第61回日本神経化学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yokoyama S
2. 発表標題 Subthreshold depression study for Adolescence.
3. 学会等名 AMED European joint workshops: Overcoming health challenges at different life stages, using big data, biobank and cohort approaches (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takagaki K, Yokoyama S, Okamoto Y
2. 発表標題 Development of behavioral modification program based on personalized value for late adolescents with depression.
3. 学会等名 International Symposium on Adolescent Health and Personalized Value (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名	Mori A, Okamoto Y, Takamura M, Okada G, Takagaki, K, Jinnin R, Yokoyama S, Matsumoto M, Matsumoto K, Yamawaki S
2. 発表標題	Behavioral activation for subthreshold depression changes neural activation during intrinsic motivational task.
3. 学会等名	31st CINP World Congress (国際学会)
4. 発表年	2018年

1. 発表者名	高垣耕企
2. 発表標題	うつ病や閾値下うつに対する介入研究とエビデンス：広島大学・元気プロジェクト
3. 学会等名	第18回日本認知療法・認知行動療法学会
4. 発表年	2018年

1. 発表者名	高垣耕企・神人 蘭・横山 仁史・森 麻子・岡本 百合・三宅 典恵・下田 陽樹・川上 憲人・古川 壽亮・山脇 成人・岡本 泰昌
2. 発表標題	青年期うつ病を対象とした行動活性化プログラムの長期的な効果：予備的検討
3. 学会等名	第15回日本うつ病学会
4. 発表年	2018年

1. 発表者名	横山仁史
2. 発表標題	神経心理学的側面からみえた思春期後期への行動活性化の発達の意義
3. 学会等名	日本心理学会第82回大会
4. 発表年	2018年

1. 発表者名 横山仁史、高垣耕企、岡田剛、高村真広、市川奈穂、香川英美、森麻子、神人蘭、岡本泰昌
2. 発表標題 行動活性化パラダイムに基づいた行動選択に対する脳機能予測モデル
3. 学会等名 第44回日本認知・行動療法学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 van Loon R, Zomer P, Raggatt P, Nochi M, Buster A.
2. 発表標題 Developing your position-repertoire: New perspectives and practices.
3. 学会等名 10th international conference on the dialogical self (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Nochi M, van Loon EJP, Kitamura A, Hirotsu H, Yokoyama K.
2. 発表標題 Encounter and dialogue with otherness and alterity outside and inside the self: Findings from qualitative research in clinical psychology.
3. 学会等名 10th international conference on the dialogical self (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 植田嘉好子、田中彰吾、能智正博、西研
2. 発表標題 ナラティブを通じた他者理解 聞き手の視点と感性に注目しながら
3. 学会等名 日本質的心理学会第15回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 後藤ひとみ、斉藤ふくみ、鈴木裕子、香田由美、竹鼻ゆかり、能智正博
2. 発表標題 養護教諭の専門性を支える理論構築にむけて養護実践研究のアプローチ
3. 学会等名 日本学校保健学会第65回学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 能智正博
2. 発表標題 メンタルヘルス研究を質的にはじめてみたい方へ～実はけっこう難しいインタビューの技法～
3. 学会等名 日本学校メンタルヘルス学会第22回大会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 能智正博、保坂裕子、やまだようこ、無藤隆、抱井尚子
2. 発表標題 質的研究論文評価の視点と課題 アメリカ心理学会の基準を素材にして
3. 学会等名 日本発達心理学会第30回大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Okada N, Hashimoto R, Ozaki N, Kasai K
2. 発表標題 Circuits/physiology biomarkers based on RDoC.
3. 学会等名 WFSBP Asia Pacific Regional Congress of Biological Psychiatry (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Araki T, Kirihara K, Koshiyama D, Nagai T, Tada M, Fujioka M, Usui K, Kasai K
2. 発表標題 Mismatch negativity in schizophrenia.
3. 学会等名 WFSBP Asia Pacific Regional Congress of Biological Psychiatry (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 笠井清登
2. 発表標題 思春期のこころの成長と不調からの回復
3. 学会等名 脳とこころの研究 第4回公開シンポジウム
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 笠井清登
2. 発表標題 閾値下精神病体験を認める思春期早期の児における脳皮質下体積の左右バランスの変化に関する検討
3. 学会等名 脳とこころの研究 第4回公開シンポジウム
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 多田真理子、小池進介、笠井清登
2. 発表標題 今後の多施設共同研究における早期精神病の評価・診断のあり方.
3. 学会等名 第22回日本精神保健・予防学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 笠井清登
2. 発表標題 人生行動科学にもとづく統合失調症の理解と支援
3. 学会等名 第4回九州DPAフォーラム（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 笠井清登
2. 発表標題 あなたの価値観を大切に作る統合失調症の新しい理解と支援
3. 学会等名 第53回コンボ亭月例会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 市橋香代、堀輝、安田由華、山本智也、渡邊衡一郎、稲田健、笠井清登、橋本亮太
2. 発表標題 統合失調症治療における施設群ごとのQuality Indicatorの検討：精神科医療の普及と教育に対するガイドラインの効果に関する研究（EGUIDE）より
3. 学会等名 第48回日本神経精神薬理学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 笠井清登
2. 発表標題 精神疾患のリバーストランスレーショナルリサーチ
3. 学会等名 第34回Wakoワークショップ
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 笹林大樹、高柳陽一郎、高橋努、小森祐子、西山志満子、片桐直之、佐久間篤、小原千佳、小池進介、山末英典、中村美保子、古市厚志、木戸幹雄、西川祐美子、笠井清登、松本和紀、水野雅文、鈴木道雄
2. 発表標題 精神病発症危険群における脳回形成の変化と認知機能障害との関連
3. 学会等名 第18回精神疾患と認知機能研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 藤岡真生、切原賢治、越山太輔、多田真理子、永井達哉、臼井香、小池進介、管心、荒木剛、笠井清登
2. 発表標題 ミスマッチ陰性電位は精神病ハイリスク者の寛解をよび認知機能を予測する
3. 学会等名 第18回精神疾患と認知機能研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kasai K
2. 発表標題 Neurophysiological investigations into early psychosis using translatable brain markers.
3. 学会等名 The 40th Annual Meeting of Japanese Society of Biological Psychiatry
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kasai K, Gregory AL
2. 発表標題 Mismatch negativity as a translatable biomarker bridging a gap between animal model and human diseases.
3. 学会等名 The 41st Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society,
4. 発表年 2018年

1 . 発表者名 Sadato N, Kasai K
2 . 発表標題 International Symposium on Global Neuroscience Cooperation.
3 . 学会等名 The 41st Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society,
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Koshiyama D, Kirihara K, Tada M, Nagai T, Fujioka M, Usui K, Koike S, Suga M, Araki T, Kasai K
2 . 発表標題 MMN in human adolescence and in early psychosis.
3 . 学会等名 The 41st Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society,
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Kunii N, Ishishita Y, Shimada S, Tada M, Kirihara K, Uka T, Kasai K, Saito N
2 . 発表標題 Human ECoG study on the lateral superior temporal gyrus: deviance detection versus adaptation.
3 . 学会等名 The 41st Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society,
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Bundo M, Ueda J, Nishioka M, Kiyota E, Kasai K, Kato T, Iwamoto K
2 . 発表標題 Developing a method for detection of LINE-1 and its application to single brain cells.
3 . 学会等名 The 41st Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society,
4 . 発表年 2018年

1. 発表者名 Morita K, Miura K, Fujimoto M, Yamamori H, Yasuda Y, Kudo N, Azechi H, Okada N, Koshiyama D, Kawakami S, Morita S, Ikeda M, Kasai K, Hashimoto R
2. 発表標題 Eye movement abnormalities and their association with cognitive impairments in schizophrenia.
3. 学会等名 The 41st Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society,
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Tada M, Kirihara K, Ishishita Y, Kunii N, Shimada S, Ibayashi K, Saito N, Uka T, Kasai K
2. 発表標題 Localization and characteristics of auditory steady-state response (ASSR) in the human electrocorticogram (ECoG).
3. 学会等名 The 41st Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society,
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Tanaka T, Nishimura F, Kakiuchi C, Kasai K, Kimura M, Haruno M
2. 発表標題 Interactive effects of OXTR and GAD1 on envy-associated behaviors and neural responses.
3. 学会等名 The 41st Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society,
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Zhao Z, Jinde S, Koike S, Yoshikawa A, Satomura Y, Bundo M, Iwamoto K, Kakiuchi C, Kasai K
2. 発表標題 Involvement of microRNAs in first-episode psychosis.
3. 学会等名 The 41st Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society,
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 笠井清登
2. 発表標題 思春期・AYA世代支援の科学
3. 学会等名 日本小児科学会・第13回思春期医学臨床講習会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 金原明子、熊倉陽介、笠井清登
2. 発表標題 シンポジウム2：統合失調症はどこまで治るか 「リカバリーの視点から」
3. 学会等名 第13回日本統合失調症学会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kanehara A, Kumakura, Kanata, Fujieda Y, Koike H, Morita K, Yamaguchi S, Miyamoto Y, Nochi M, Fukuda M, Kasai K
2. 発表標題 Development of a framework of recovery for mental health service users in Japan
3. 学会等名 6th BESETO (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 A. Kanehara, Y. Kumakura, S. Kanata, Y. Fujieda, H. Koike, K. Morita, S. Yamaguchi, Y. Miyamoto, M. Nochi, M. Fukuda, K. Kasai.
2. 発表標題 Development of a framework of recovery for mental health service users in Japan
3. 学会等名 6th European Conference on Schizophrenia Research (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kumakura Y, Kanehara A, Kanata S, Natsukari I, Kondo S, Ichihashi K, Suga M, Miyamoto Y, Ikebuchi E, Fukuda M, Kasai K:
2. 発表標題 Development of a question prompt sheet for schizophrenia: dissemination strategies to raise awareness of shared decision making (SDM) in Japan.
3. 学会等名 6th European Conference on Schizophrenia Research (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 笠井清登・金原明子・熊倉陽介
2. 発表標題 リカバリーをどのように共同創造できるのかー主体価値の視点から How can we co-product personal recovery? From the viewpoint of personalized value シンポジウム 28 (S28-3) 統合失調症のリカバリーガイドライン 当事者との coproduction (共同創造)
3. 学会等名 第113回 日本精神神経学会学術総会 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Nishioka M, Bundo M, Kasai K, Iwamoto K.
2. 発表標題 Comprehensive DNA methylation analysis of peripheral blood cells derived from patients with first-episode schizophrenia.
3. 学会等名 第62回日本人類遺伝学会 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 池亀天平、文東美紀、岡田直大、村田唯、小池進介、菅原裕子、近藤健治、池田匡志、大和田啓峰、福永雅喜、山下典生、越山太輔、夏堀龍暢、岩白訓周、浅井竜朗、吉川茜、西村文親、河村代志也、石郷岡純、垣内千尋、佐々木司、阿部修、橋本亮太、岩田仲生、山末英典、加藤忠史、笠井清登、岩本和也
2. 発表標題 双極性障害および統合失調症で認められる低活性5-HTTLPR依存的SLC6A4 CpG island shoreの高メチル化
3. 学会等名 第39回日本生物学的精神医学会・第47回日本神経精神薬理学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 川崎瞳、長岡紗由、村田唯、菅原裕子、文東美紀、岩本和也
2. 発表標題 精神疾患及びアルツハイマー病患者死後脳でのepigenetic clockの予備的解析
3. 学会等名 第39回日本生物学的精神医学会・第47回日本神経精神薬理学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 能智正博
2. 発表標題 ある失語症者における「失語」の意味の長期的変遷 15年を隔てた再インタビューを手がかりに
3. 学会等名 日本心理学会第81回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kanehara, A., Kumakura, Y., Kanata, S., Fujieda, Y., Koike, H., Morita, K., Yamaguchi, S., Miyamoto, Y., Nochi, M., Fukuda, M. & Kasai, K.,
2. 発表標題 Development of a framework of recovery for mental health service users in Japan.
3. 学会等名 The 6th European Conference on Schizophrenia Research, (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ueda, K., Nochi, M., Tanaka, S. & Nishi, K.
2. 発表標題 Focusing on the narrative self in human sciences.
3. 学会等名 The 17th Biennial Conference of the International Society for Theoretical Psychology (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 能智正博・鈴木聡志・大橋靖史・柴山真琴・上淵寿・永田素彦
2. 発表標題 質的研究評価基準への展望 「Sage質的研究キット」とAPAにおける議論を手がかりに
3. 学会等名 日本質的心理学会第14回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 高垣耕企・岡本泰昌・神人 蘭・横山仁史・森 麻子・塩田翔一・岡本百合・三宅典恵・永澤一恵・下田陽樹・川上憲人・古川壽亮・山脇成人
2. 発表標題 青年期うつ病を対象とした回避行動に焦点をあてた行動活性化：実施可能性の検討
3. 学会等名 日本うつ病学会総会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hideya Yamamoto, Kaoru Ito, Chihiro Honda, Eiji Aramaki
2. 発表標題 Does Digital Dementia Exist?
3. 学会等名 AAAI 2018 Spring Symposium (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Daisaku Shibata, Shoko Wakamiya, Kaoru Ito, Mai Miyabe, Ayae Kinoshita, Eiji Aramaki.
2. 発表標題 VocabChecker: Measuring Language Abilities for Detecting Early Stage Dementia.
3. 学会等名 ACM IUI (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 柴田大作, 伊藤薫, 若宮翔子, 木下彩栄, 荒牧英治
2. 発表標題 日本語におけるIdea Density: 認知症の早期発見を目指して
3. 学会等名 第37回医療情報学連合大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 柴田大作, 伊藤薫, 若宮翔子, 木下彩栄, 荒牧英治
2. 発表標題 自由発話による認知症スクリーニングを支援するアプリケーションの開発
3. 学会等名 第37回医療情報学連合大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 荒牧英治
2. 発表標題 人工知能による言語解析 – スマホを使った語彙力による認知症スクリーニングの可能性 –
3. 学会等名 金沢大学子どもこころの発達研究センター (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 熊倉陽介, 和田明, 濱田純子, 田宗秀隆, 金原明子, 越膳航平, 小川知子, 金生由紀子, 笠井清登
2. 発表標題 「居場所」を再考する: 22q11.2欠失症候群をもつ当事者と家族の語りから (ポスター)
3. 学会等名 第13回日本統合失調症学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 宮本有紀、松本衣美、坂井隆太郎、森田康子、小松周子、小川亮、熊倉陽介、千葉理恵、佐々木理恵、山口創生、西大輔、島津明人、近藤伸介、笠井清登
2. 発表標題 精神保健領域における共同創造 (Co-production) : 文献レビュー (ポスター)
3. 学会等名 第13回日本統合失調症学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 千葉理恵、宮本有紀、山口創生、西大輔、島津明人、近藤伸介、笠井清登
2. 発表標題 成人を対象としたウェルビーイングの評価尺度に関する文献レビュー : 精神保健サービスのアウトカム評価の視点から (ポスター)
3. 学会等名 第13回日本統合失調症学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 金原明子、小竹理紗、宮本有紀、熊倉陽介、森田健太郎、石浦朋子、清水希実子、藤枝由美子、安藤俊太郎、近藤伸介、笠井清登
2. 発表標題 リカバリープロセス尺度日本語版の開発 (ポスター)
3. 学会等名 第13回日本統合失調症学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 江口聡、藤枝由美子、管心、笠井清登
2. 発表標題 A病院デイケアにおけるメタ認知トレーニングの効果の検討 (ポスター)
3. 学会等名 第13回日本統合失調症学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 谷元子、土屋麻衣子、金原明子、太田和佐、小池春菜、多田真理子、里村嘉弘、松岡潤、澤田欣吾、森田健太郎、越山太輔、川上慎太郎、藤岡真生、小池進介、笠井清登
2. 発表標題 養育者のスティグマや精神健康状態が発症早期の統合失調症スペクトラム症外に与える影響についての予備的検討（ポスター）
3. 学会等名 第13回日本統合失調症学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 森田健太郎、三浦健一郎、藤本美智子、穴戸恵美子、椎野智子、高橋潤一、山森英長、安田由華、鬼塚俊明、尾崎紀夫、笠井清登、橋本亮太
2. 発表標題 統合失調症における眼球運動異常の認知社会機能における意義：多施設での検討（ポスター）
3. 学会等名 第13回日本統合失調症学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小池進介、榊原英輔、里村嘉弘、櫻田華子、山岸美香、松岡潤、岡田直大、笠井清登
2. 発表標題 近赤外線スペクトロスコピによる脳活動と人口動態・計測時評価の関係：大規模NIRS解析（ポスター）
3. 学会等名 第13回日本統合失調症学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 越山太輔、福永雅喜、岡田直大、森田健太郎、根本清貴、山下典生、山森英長、安田由華、藤本美智子、Sinead Kelly, Neda Jahanshad, 工藤紀子、畦地裕統、渡邊嘉之、Gary Donohoe, Paul Thompson, 笠井清登、橋本亮太
2. 発表標題 統合失調症における拡散テンソル画像指標と社会機能との相関解析（ポスター）
3. 学会等名 第13回日本統合失調症学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 澤田欣吾、榊原英輔、金原明子、小池春菜、藤枝由美子、管心、宮本有紀、福田正人、笠井清登
2. 発表標題 統合失調症患者に対する臺式簡易客觀的精神指標 (Utena's Brief Objective Measures: UBOM) の意義についての研究 (ポスター)
3. 学会等名 第13回日本統合失調症学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 笠井清登、岡田直大、小池進介、安藤俊太郎
2. 発表標題 思春期コホートによる発達脳研究 (東京ティーンコホート) (シンポジウム)
3. 学会等名 第20回日本ヒト脳機能マッピング学会、
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 笠井清登
2. 発表標題 思春期発達の脳科学・精神医学の立場から (シンポジウム)
3. 学会等名 人間行動科学研究拠点立ち上げシンポジウム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 水流聡子、熊倉陽介、立森久照、矢作尚久、笠井清登、小高真美、明田久美子、端坂幸子、津田多佳子、植木美津枝、南里清香
2. 発表標題 都市部自治体における「みまもりロジック」の開発 川崎市みまもりサービスの質改善に向けた活 (一般演題・口演)
3. 学会等名 第2回日本臨床知識学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 熊倉陽介、小高真美、立森久照、水流聡子、笠井清登
2. 発表標題 川崎市における措置診察後の地域生活支援のための情報共有システムに関する実践型研究（一般演題・口演）
3. 学会等名 第2回日本臨床知識学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 笹林大樹、高柳陽一郎、高橋努、小森祐子、小池進介、山末英典、片桐直之、佐久間篤、小原千佳、中村美保子、古市厚志、木戸幹雄、西川祐美子、松本和紀、水野雅文、笠井清登、鈴木道雄
2. 発表標題 精神病発症危険群における大脳皮質厚の変化と機能的転帰との関連（一般演題・口演）
3. 学会等名 第17回精神疾患と認知機能研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 藤岡真生、切原賢治、越山太輔、多田真理子、永井達哉、荒木剛、笠井清登
2. 発表標題 統合失調症早期段階におけるミスマッチ陰性電位とガンマ帯域聴性定常反応の関連（一般演題・口演）
3. 学会等名 第17回精神疾患と認知機能研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 荒木剛、切原賢治、越山太輔、永井達哉、多田真理子、藤岡真生、笠井清登
2. 発表標題 統合失調症の事象関連電位；MMNを中心に（シンポジウム）
3. 学会等名 第47回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 笠井清登
2. 発表標題 思春期における発達と問題行動（シンポジウム）
3. 学会等名 第59回日本教育心理学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 森田健太郎、三浦健一郎、藤本美智子、岡田直大、山森英長、安田由華、越山太輔、工藤紀子、畦地裕統、山下典生、根本清貴、福永雅喜、笠井清登、橋本亮太
2. 発表標題 統合失調症における眼球運動と大脳皮質厚の関連解析（一般演題・ポスター）
3. 学会等名 第39回日本生物学的精神医学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 多田真理子、切原賢治、越山太輔、藤岡真生、小池進介、荒木剛、笠井清登
2. 発表標題 統合失調症早期段階の自発ガンマ活動と聴覚誘発ガンマオシレーションの変化（一般演題・ポスター）
3. 学会等名 第39回日本生物学的精神医学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 池亀天平、文東美紀、岡田直大、村田唯、小池進介、菅原裕子、近藤健治、池田匡志、大和田啓峰、福永雅喜、山下典生、越山太輔、夏堀龍暢、岩白訓周、吉川茜、西村文親、石郷岡純、垣内千尋、佐々木司、阿部修、橋本亮太、岩田仲生、山末英典、加藤忠史、笠井清登、岩本和也
2. 発表標題 双極性障害および統合失調症で認められる低活性 5-HTTLPR 依存的 SLC6A4 CpG island shore の高メチル化（一般演題・ポスター）
3. 学会等名 第39回日本生物学的精神医学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 越山太輔、切原賢治、多田真理子、永井達哉、藤岡真生、小池進介、菅心、荒木剛、笠井清登
2. 発表標題 統合失調症の早期段階におけるミスマッチ陰性電位と認知機能・全般的社会適応レベルとの相関関係（一般演題・ポスター）
3. 学会等名 第39回日本生物学的精神医学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 三浦健一郎、森田健太郎、藤本美智子、山森英長、安田由華、笠井清登、橋本亮太
2. 発表標題 眼球運動は客観的補助診断基準へと進化できるのか？（シンポジウム）
3. 学会等名 第39回日本生物学的精神医学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 金田渉、金原明子、熊倉陽介、笠井清登
2. 発表標題 公立中学校における「こころの健康出前授業」の取り組み（一般演題・口頭発表）
3. 学会等名 第110回東京精神医学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 金田渉、里村喜弘、市橋香代、小池進介、笠井清登
2. 発表標題 「都立高校専門医派遣事業」における精神科医派遣の実践と今後の課題（シンポジウム）
3. 学会等名 第113回日本精神神経学会学術総会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 安藤俊太郎、西田淳志、小池進介、金田渉、藤川慎也、古川壽亮、笠井清登
2. 発表標題 10歳児童における精神的ストレスに対する援助希求態度の関連要因の包括的検討(シンポジウム)
3. 学会等名 第113回日本精神神経学会学術総会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 森田健太郎、三浦健一郎、藤本美智子、山森英長、安田由華、工藤紀子、畦地裕統、越山太輔、岡田直大、池田学、笠井清登、橋本亮太
2. 発表標題 統合失調症における眼球運動と認知機能の関連解析(一般演題・ポスター)
3. 学会等名 第113回日本精神神経学会学術総会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kasai K
2. 発表標題 Neuroimaging and neurophysiological investigations into schizophrenia. [Symposium presentation]
3. 学会等名 The 1st International Symposium of International Research Center for Neurointelligence, (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kumakura Y, Kanehara A, Kanata S, Natsukari I, Kondo S, Ichihashi K, Suga M, Miyamoto Y, Ikebuchi E, Fukuda M, Kasai K
2. 発表標題 Development of a question prompt sheet for schizophrenia: dissemination strategies to raise awareness of shared decision making (SDM) in Japan. [Poster]
3. 学会等名 6th European Conference on Schizophrenia Research (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kanehara A, Kumakura Y, Kanata S, Fujieda Y, Koike H, Morita K, Yamaguchi S, Miyamoto Y, Nochi M, Fukuda M, Kasai K
2. 発表標題 Development of a framework of recovery for mental health service users in Japan.[Oral presentation]
3. 学会等名 6th European Conference on Schizophrenia Research (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Fukuda M, Niwa SI, Murai T, Kasai K, Kanehara A, Kanata S, Kumakura Y, Okazaki Y
2. 発表標題 An ongoing trial for recovery-oriented and co-productive reform of academic schizophrenia research society: a challenge of the Japanese Society of Schizophrenia Research. [Poster]
3. 学会等名 6th European Conference on Schizophrenia Research (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kasai K & Ligh GA
2. 発表標題 Mismatch Negativity as a Translatable Biomarker for Schizophrenia. [Symposium Chair]
3. 学会等名 72nd Annual Meeting, Society of Biological Psychiatry (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Okada N, Yahata N, Koshiyama D, Morita K Sawada K, Kanata, Fujikawa S, Sugimoto N, Toriyama R, Masaoka M, Koike S, Araki T, Kano Y, Endo K, Yamasaki S, Ando S, Nishida A, Hiraiwa-Hasegawa M, Edden R, Barker P, Sawa A, Kasai K
2. 発表標題 GABA and functional connectivity in the anterior cingulate cortex in early adolescence.[Poster]
3. 学会等名 72nd Annual Meeting, Society of Biological Psychiatry (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Koshiyama D, Kirihara K, Tada M, Nagai T, Koike S, Suga M, Kasai K
2. 発表標題 Association between mismatch negativity and neurocognition and global functioning in ultra-high risk for psychosis and first episode for psychosis and first-episode psychosis. [Poster]
3. 学会等名 72nd Annual Meeting, Society of Biological Psychiatry (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kirihara K, Nagai T, Suda Y, Tada M, Koshiyama D, Koike S, Suga M, Araki T, Hashimoto K, Uka T, Kasai K
2. 発表標題 Mismatch negativity in patients with early stages of psychosis and in non-human primates. [Symposium]
3. 学会等名 72nd Annual Meeting, Society of Biological Psychiatry (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 藤枝由美子、石橋綾、矢島明佳、清水希実子、管心、金原明子、石浦朋子、宮本有紀、近藤伸介、笠井清登
2. 発表標題 ピアスタッフ導入に向けての取り組み：A病院デイケアでのニーズ調査
3. 学会等名 第12回日本統合失調症学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 土屋麻衣子、谷元子、金原明子、太田和佐、小池進介、笠井清登
2. 発表標題 「こころのリスク外来」メール受診相談におけるPRIME-Jスクリーニングの活用
3. 学会等名 第12回日本統合失調症学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 太田和佐、谷元子、土屋麻衣子、金原明子、多田真理子、管心、小池進介、笠井清登
2. 発表標題 テキストマイニング分析を用いた精神科医療機関への支援要請過程に関する調査
3. 学会等名 第12回日本統合失調症学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 江口聡、管心、藤枝由美子、夏堀龍暢、山崎修道、笠井清登
2. 発表標題 A病院におけるメタ認知訓練法の効果の検討
3. 学会等名 第12回日本統合失調症学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 清水希美子、塩原裕理、藤枝由美子、飯田美恵、金原明子、管心、芳賀信彦、笠井清登
2. 発表標題 東京大学医学部附属病院における精神障害者試験的雇用の実践報告
3. 学会等名 第12回日本統合失調症学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 坂井隆太郎、松本衣美、宮本有紀、小川亮、熊倉陽介、森田康子、千葉理恵、西大輔、山口創生、島津明人、近藤伸介、笠井清登
2. 発表標題 リカバリーを支援するプログラムについて：英国に置けるリカバリーカレッジ運営の実態から
3. 学会等名 第12回日本統合失調症学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松本衣美、坂井隆太郎、宮本有紀、小川亮、熊倉陽介、森田康子、千葉理恵、西大輔、山口創生、島津明人、近藤伸介、笠井清登
2. 発表標題 英国リカバリーカレッジの効果について：文献レビュー
3. 学会等名 第12回日本統合失調症学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 宮本有紀、小川亮、坂井隆太郎、松本衣美、山田理絵、熊倉陽介、森田康子、千葉理恵、山口創生、西大輔、島津明人、近藤伸介、笠井清登
2. 発表標題 主体的参加によるリカバリー促進実践：英国リカバリーカレッジの提供する講座内容の分析
3. 学会等名 第12回日本統合失調症学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 千葉理恵、宮本有紀、山口創生、西大輔、島津明人、近藤伸介、笠井清登
2. 発表標題 精神保健サービスおよびサービスに関わる人のリカバリー志向性に関連する評価尺度：文献レビュー
3. 学会等名 第12回日本統合失調症学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 管心、西村幸香、川久保友紀、湯本真人、笠井清登
2. 発表標題 統合失調症患者を対象に脳磁計を用いた単一課題中のduration/frequency MMNの測定
3. 学会等名 第12回日本統合失調症学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 越山太輔、切原賢治、多田真理子、永井達哉、荒木剛、笠井清登
2. 発表標題 精神病的障害の早期段階に置けるミスマッチ陰性電位の縦断研究
3. 学会等名 第12回日本統合失調症学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山崎修道、安藤俊太郎、小池進介、藤川慎也、金田涉、遠藤香織、森本裕子、宇佐美慧、長谷川真理子、笠井清登、西田淳志
2. 発表標題 母体の妊娠早期糖尿病罹患と10歳児の精神病症状体験・抑うつとの縦断的関連
3. 学会等名 第12回日本統合失調症学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 笠井清登
2. 発表標題 「新学術領域研究：思春期主体価値」紹介
3. 学会等名 次世代脳プロジェクト：冬のシンポジウム
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 笠井清登
2. 発表標題 統合失調症の病態解明へのアプローチ
3. 学会等名 第49回精神神経系薬物治療研究報告会（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 金原明子、熊倉陽介、金田渉、中野彰夫、笠井清登
2. 発表標題 こころの健康教育教材を用いた出前授業の実施：実践報告
3. 学会等名 第20回日本精神保健・予防学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 安藤俊太郎、西田淳志、宇佐美慧、小池進介、山崎修道、金田渉、藤川慎也、古川壽亮、長谷川真理子、笠井清登
2. 発表標題 思春期メンタルヘルスと援助希求
3. 学会等名 第20回日本精神保健・予防学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 笠井清登
2. 発表標題 思春期主体価値学にもとづく統合失調症の理解と支援
3. 学会等名 第11回山口県統合失調症研究会（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 池亀天平、文東美紀、菅原裕子、小池進介、近藤健治、池田匡志、才田晴美、浅井竜朗、吉川茜、西村文親、河村代志也、垣内千尋、佐々木司、石郷岡純、岩田仲生、加藤忠史、笠井清登、岩本和也
2. 発表標題 双極性障害および統合失調症患者末梢血で認められるSLC6A4プロモーターの高メチル化
3. 学会等名 第38回日本生物学的精神医学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 笹林大樹、高柳陽一郎、小池進介、山末英典、片桐直之、佐久間篤、中村美保子、高橋努、古市厚志、木戸幹雄、西川祐美子、松本和紀、水野雅文、笠井清登、鈴木道雄
2. 発表標題 At-risk mental stateにおける脳回の過形成
3. 学会等名 第38回日本生物学的精神医学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 菅原裕子、文東美紀、池亀天平、近藤健治、池田匡志、岩田仲生、石郷岡純、笠井清登、加藤忠史、岩本和也
2. 発表標題 統合失調症と双極性障害におけるエピゲノム要因の共通性と特異性についての検討
3. 学会等名 第38回日本生物学的精神医学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 柴田大作、若宮翔子、伊藤薫、荒牧英治
2. 発表標題 J1WC: クラウドソーシングによる日本語感情表現辞書の構築
3. 学会等名 言語処理学会 第23回年次大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 伊藤薫、荒牧英治、磯颯、矢野憲、若宮翔子、安藤俊太郎、西田淳志
2. 発表標題 思春期コホートにおける自由記述文長とウェルビーイング
3. 学会等名 言語処理学会 第23回年次大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Camille Marie Ruiz, Kaoru Ito, Shoko Wakamiya, Eiji Aramaki
2. 発表標題 Loneliness in a Connected World: Analyzing Online Activity and Expressions on Real Life Relationships of Lonely Users
3. 学会等名 AAAI Spring Symposium on Wellbeing AI: From Machine Learning to Subjectivity Oriented Computing (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 荒牧英治
2. 発表標題 自然言語処理の医療応用
3. 学会等名 第4回医療ICTカンファレンス(招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 荒牧英治
2. 発表標題 ことばで医療を変える 自然言語処理の医療応用
3. 学会等名 情報処理学会連続セミナー「スマートなヘルスケアとライフケア」(招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 塩田翔一・岡本泰昌・岡田 剛・高垣耕企・高村真広・森 麻子・横山仁史・西山佳子・神人 蘭・橋本龍一郎・山脇成人"
2. 発表標題 行動活性化の抑うつへのメタ認知機能への効果-fMRI研究-
3. 学会等名 第13回日本 うつ病学会 総会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 横山仁史・岡本泰昌・高垣耕企・森 麻子・塩田翔一・岡田 剛・高村真広・市川奈穂・神人 蘭・山脇成人
2. 発表標題 閾値化うつ病の安静時デフォルトモードネットワークに対する 行動活性化の効果
3. 学会等名 第13回日本 うつ病学会 総会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 岩本和也
2. 発表標題 エピゲノム解析による精神疾患の新規病因・病態解明
3. 学会等名 第35回日本認知症学会学術集会シンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 岩本和也
2. 発表標題 気分安定薬・抗精神病薬がエピゲノム状態に与える影響について
3. 学会等名 第26回日本臨床精神神経薬理学会シンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 菅原裕子、文東美紀、池亀天平、近藤健治、池田匡志、岩田仲生、石郷岡純、笠井清登、加藤忠史、岩本和也
2. 発表標題 統合失調症と双極性障害におけるエピゲノム要因の共通性と特異性についての検討
3. 学会等名 第38回日本生物学的精神医学会 ・ 第59回日本神経化学会大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 池亀天平、文東美紀、菅原裕子、小池伸介、近藤健治、池田匡志、浅井竜朗、吉川茜、西村文親、河村代志也、垣内千尋、佐々木司、石郷岡純、岩田仲生、加藤忠史、笠井清登、岩本和也
2. 発表標題 双極性障害および統合失調症患者末梢血で認められるSLC6A4 プロモーターの高メチル化(優秀発表賞受賞)
3. 学会等名 第38回日本生物学的精神医学会 ・ 第59回日本神経化学学会大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 菅原裕子、文東美紀、池亀天平、才田晴美、近藤健治、池田匡志、岩田仲生、石郷岡純、笠井清登、加藤忠史、岩本和也
2. 発表標題 統合失調症と双極性障害におけるエピジェネティック要因の重なりについて
3. 学会等名 第13回日本うつ病学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 能智正博
2. 発表標題 “病いの語り”のとらえかた
3. 学会等名 第20回日本摂食障害学会学術集会(招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 能智正博・園部愛子・金智慧・川上侑希子・眞柄翔太
2. 発表標題 先天性盲児の自己像の初期発達 療育場面の映像の質的分析から
3. 学会等名 日本教育心理学会第58回総会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 能智正博
2. 発表標題 失語と向き合う20年 障害の語りの変遷から見えるもの
3. 学会等名 日本「祈りと救いところ」学会第3回学術研究大会（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 能智正博・園部愛子・片山皓絵・横山克貴・真柄翔太
2. 発表標題 “見る”に関わる先天性盲児の言語使用の発達 - 療育場面の縦断的な映像記録の質的分析から -
3. 学会等名 日本発達心理学会第28回総会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Masae Manabe, Kongmeng Liew, Shuntaro Yada, Shoko Wakamiya, Eiji Aramaki
2. 発表標題 Psychologically Distressed Youth Create Happy Stories: Estimation of Psychological distress in Japanese Youth by Stylometric and Sentiment Analyses of Imaginative Writing
3. 学会等名 2021 Association for psychological science Virtual Convention
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 岩本和也
2. 発表標題 精神疾患におけるエピゲノム解析の現状と課題
3. 学会等名 第50回日本神経精神薬理学・第42回日本生物学的精神医学会・第4回日本精神薬学会合同年会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 岩本和也
2. 発表標題 セロトニントランスポーターのエピゲノム解析による精神疾患と認知症の病態解析
3. 学会等名 第39回認知症学会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Fujii A, Nakachi Y, Ikegame T, Koike S, Kasai K, Bundo M, Iwamoto K
2. 発表標題 Correlation between age acceleration and age-onset in patients with first-episode schizophrenia: a preliminary study
3. 学会等名 the 32nd CINP World Congress（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Ikegame T, Hidaka Y, Nakachi Y, Murata Y, Watanabe R, Sugawara H, Asai T, Kiyota E, Saito T, Ikeda M, Sasaki T, Hashimoto M, Takebayashi M, Iwata N, Kasai K, Bundo M, Iwamoto K
2. 発表標題 Identification of novel serotonin transporter-linked polymorphic region (5-HTTLPR) in SLC6A4 gene using a large-scale genomic sample
3. 学会等名 the 32nd CINP World Congress（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 吉川慧、仲地ゆたか、日高洋介、村田唯、渡邊理紗、菅原裕子、石川智久、橋本衛、高野裕治、瀧靖之、岡本泰昌、竹林実、文東美紀、岩本和也、
2. 発表標題 セロトニントランスポーター5-HTTLPR多型と老年期脳形態との関連の検討
3. 学会等名 第50回日本神経精神薬理学・第42回日本生物学的精神医学会・第4回日本精神薬学会合同年会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 岡本泰昌
2. 発表標題 レジリエンスからみたうつ病発症予防と回復
3. 学会等名 第50回日本神経精神薬理学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 岡本泰昌
2. 発表標題 脳からみた認知行動療法とその近未来的展開
3. 学会等名 日本認知・行動療学会 第45回大会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 横山仁史
2. 発表標題 脳画像研究手法を用いた認知行動モデルについてのプロセス理解と治療応用
3. 学会等名 日本認知・行動療学会 第45回大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 横山仁史
2. 発表標題 脳科学はうつ病認知行動療法に何をもたらしたのか - 臨床応用の視点から -
3. 学会等名 日本認知・行動療学会 第45回大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 大瀧玲子・広津侑実子・沖潮満里子・尾見康博・能智正博
2. 発表標題 重度障害児・者をケアすることの意味(1) : 対話的自己論から福祉援助職の体験を読み解く
3. 学会等名 日本質的心理学会第17回大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 広津侑実子・大瀧玲子・沖潮満里子・尾見康博・能智正博
2. 発表標題 重度障害児・者をケアすることの意味(2) : 対話的自己論から障害者家族の体験を読み解く
3. 学会等名 日本質的心理学会第17回大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 長谷川幹・小林隆司・能智正博・藤田真樹・増田司
2. 発表標題 脳損傷者の 主体性 に関する研究() 質問票の開発
3. 学会等名 日本リハビリテーション医学会第5回秋季大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 能智正博・小川彰・小林隆司・藤田真樹・長谷川幹
2. 発表標題 脳損傷者の 主体性 に関する研究() 質問票に基づく変容過程の探索
3. 学会等名 日本リハビリテーション医学会第5回秋季大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 M. Nochi
2. 発表標題 How did a blind child begin understanding her “blind self”? : A longitudinal analysis of conversation between her and adults.
3. 学会等名 14th International Conference on Discourse Analysis
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 能智正博・広津侑実子・片山皓絵・江刺香奈・薛海升・望月登志子・鳥居修晃
2. 発表標題 先天性盲児における 空間 の発達過程 歩く行為に注目した質的な映像分析から
3. 学会等名 日本発達心理学会第32回大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 宮城美奈子、中村美和、松田美智代、近藤伸介、笠井清登
2. 発表標題 大学病院精神科病棟における「身体拘束ゼロ」に向けた多職種協働の取り組み
3. 学会等名 第116回日本精神神経学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 松本純弥、福永雅喜、根本清貴、越山太輔、三浦健一郎、岡田直大、森田健太郎、山森英長、安田由華、藤本美智子、工藤紀子、笠井清登、渡邊嘉之、橋本亮太
2. 発表標題 脳白質の軸索の髄鞘化、大脳白質の成熟と、認知機能・社会機能の指標である労働時間との関連
3. 学会等名 第116回日本精神神経学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 長岡大樹、谷口豪、庄司瑛武、近藤伸介、笠井清登
2. 発表標題 抗うつ薬治療中に非けいれん性てんかん発作重積状態および通過症候群としての軽躁を呈した40歳代男性の一例
3. 学会等名 第116回日本精神神経学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 荒木剛、切原賢治、永井達哉、多田真理子、白井香、藤岡真生、越山太輔、笠井清登
2. 発表標題 統合失調症におけるMMN
3. 学会等名 第116回日本精神神経学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 吉川慧、池亀天平、仲地ゆたか、岡本泰昌、近藤伸介、笠井清登、文東美紀、岩本和也
2. 発表標題 統合失調症を合併したターナー症候群患者のエクソーム解析
3. 学会等名 NPBPPP2020合同年会（第50回日本神経精神薬理学会年会、第42回日本生物学的精神医学会年会、第4回日本精神薬学会総会・学術集会）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 松本純弥、三浦健一郎、坂元竜馬、福永雅喜、越山太輔、根本清貴、岡田直大、森田健太郎、大井一高、長谷川尚美、藤本美智子、山森英長、安田由華、笠井清登、渡邊嘉之、橋本亮太
2. 発表標題 統合失調症のbiotypeである認知機能障害と大脳白質統合性の関連
3. 学会等名 NPBPPP2020合同年会（第50回日本神経精神薬理学会年会、第42回日本生物学的精神医学会年会、第4回日本精神薬学会総会・学術集会）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 文東美紀、上田順子、清田恵美、笠井清登、加藤忠史、岩本和也
2. 発表標題 統合失調症患者脳のスィングルセルレベルでの LINE-1新規挿入の検出
3. 学会等名 第43回日本神経科学大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 村田唯、仲地ゆたか、文東美紀、窪田-坂下美恵、大西新、葛西秀俊、池亀天平、趙治磊、内布恵美、今村悠子、神出誠一郎、饗場篤、須原哲也、笠井清登、加藤忠史、岩本和也
2. 発表標題 poly(1:C)投与精神疾患動物モデルの新生仔脳における LINE-1コピー数と発現解析
3. 学会等名 第43回日本神経科学大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 高木優、岡田直大、安藤俊太郎、八幡憲明、森田健太郎、越山太輔、川上慎太郎、澤田欣吾、小池進介、遠藤香織、山崎修道、西田淳志、笠井清登、田中沙織
2. 発表標題 機能・構造的脳活動パターンは世代を超えて引き継がれる
3. 学会等名 第43回日本神経科学大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 山下歩、八幡憲明、國松聡、岡田直大、板橋貴史、橋本龍一郎、水田弘人、市川奈穂、高村真広、岡田剛、山形弘隆、原田健一郎、松尾幸治、田中沙織、川人光男、笠井清登、加藤進昌、高橋英彦、岡本泰昌、山下宙人、今水寛
2. 発表標題 独立施設で撮像されたデータに汎化する大うつ病の安静時機能的結合マーカー
3. 学会等名 第43回日本神経科学大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 金原明子、佐々木理恵、里村嘉弘、太田和佐、熊倉陽介、森田健太郎、山口創生、宮本 有紀、近藤伸介、熊谷晋一郎、笠井清登
2. 発表標題 ピアスタッフ研修に関する研修受講生による評価：システムティックレビュー
3. 学会等名 第15回日本統合失調症学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Nochi, M., Yokoyama, K., Okishio, M., Hirotsu, Y., Otaki, R., Omi, Y., & Valsiner, Y.
2. 発表標題 What are the subjective conditions that support the care and support of people with severe disabilities? For Dialogue to realize a symbiotic society.
3. 学会等名 11th International Conference on the Dialogical Self (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 大橋靖史・能智正博・国重浩一・綾城初穂・矢守克也・川野健治
2. 発表標題 ソーシャル・コンストラクショニズムと対人支援 その視点をいかに臨床と研究に活かしていくか
3. 学会等名 日本発達心理学会第33回大会
4. 発表年 2021年

〔図書〕 計16件

1. 著者名 横山仁史・岡本泰昌	4. 発行年 2020年
2. 出版社 学樹書院	5. 総ページ数 11
3. 書名 精神療法の脳科学的盤 脳科学は、精神療法のメカニズムにも迫ろうとしている 【精神医学の基盤 4 精神医学の科学的基盤】	

1. 著者名 能智正博	4. 発行年 2019年
2. 出版社 新曜社	5. 総ページ数 7
3. 書名 質的研究法マッピング	

1. 著者名 能智正博・香川秀太、川島大輔、サトウタツヤ、柴山真琴、鈴木聡志、藤江康彦（編）	4. 発行年 2018年
2. 出版社 新曜社	5. 総ページ数 419
3. 書名 質的心理学辞典	

1. 著者名 笠井清登	4. 発行年 2018年
2. 出版社 精神看護出版	5. 総ページ数 3
3. 書名 自分自身の健康と元気について主導権をにぎること：「WRAPをはじめる」	

1. 著者名 企画編集 笠井清登、宮本有紀、福田正人	4. 発行年 2018年
2. 出版社 医歯薬出版	5. 総ページ数 152
3. 書名 別冊医学のあゆみ・統合失調症UPDATE:脳・生活・人生の統合的理解にもとづく価値医学の最前線	

1. 著者名 望月雅和 (編著) 能智正博 (監修・解説) 大友りお/櫻坂英子/森脇健介/弓削尚子 (著)	4. 発行年 2018年
2. 出版社 現代書館	5. 総ページ数 288
3. 書名 山田わか 生と愛の条件 ケアと暴力・産み育て・国家 【解説】個人の人生の物語から何が読みとれるか	

1. 著者名 笠井清登、村井俊哉、三村將、岡本泰昌、近藤伸介、大島紀人 (編)	4. 発行年 2016年
2. 出版社 診断と治療社	5. 総ページ数 640
3. 書名 精神科研修ノート第二版	

1. 著者名 荒牧英治	4. 発行年 2017年
2. 出版社 コロナ社	5. 総ページ数 173
3. 書名 自然言語処理シリーズ 医療言語処理	

1. 著者名 Japan Society of Developmental Psychology (ed.)	4. 発行年 2016年
2. 出版社 ひつじ書房	5. 総ページ数 288
3. 書名 Frontiers in developmental psychology research: Japanese perspectives	

1. 著者名 笠井 清登、岡ノ谷 一夫、能智 正博、福田 正人	4. 発行年 2020年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 336
3. 書名 人生行動科学としての思春期学	

1. 著者名 藤山直樹、津川律子、堀越 勝、池田暁史、笠井清登	4. 発行年 2020年
2. 出版社 日本評論社	5. 総ページ数 224
3. 書名 精神療法トレーニングガイド	

1. 著者名 笠井清登（編集）	4. 発行年 2020年
2. 出版社 中山書店	5. 総ページ数 344
3. 書名 講座 精神疾患の臨床 2 統合失調症	

1. 著者名 泉 孝英	4. 発行年 2020年
2. 出版社 日経 B P	5. 総ページ数 728
3. 書名 ガイドライン外来診療2020	

1. 著者名 大森哲郎	4. 発行年 2021年
2. 出版社 学樹書院	5. 総ページ数 200
3. 書名 精神医学における仮説の形成と検証	

1. 著者名 能智 正博、大橋 靖史	4. 発行年 2021年
2. 出版社 新曜社	5. 総ページ数 328
3. 書名 ソーシャル・コンストラクショニズムと対人支援の心理学	

1. 著者名 Nochi, M.	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Routledge	5. 総ページ数 188
3. 書名 Research ethics in second language education: Universal principles, local practices	

〔産業財産権〕

〔その他〕

<p>脳・生活・人生の統合的理解にもとづく思春期からの主体価値発展学 http://value.umin.jp/ ソーシャル・コンピューティング研究室ホームページ http://sociocom.jp/publication.html 脳・生活・人生の統合的理解にもとづく思春期からの主体価値発展学 http://value.umin.jp/ ソーシャル・コンピューティング研究室ホームページ http://sociocom.jp/publication.html 日本語抽象度辞書 http://sociocom.jp/~data/2019-AWD-J/ 東京大学医学部附属病院精神神経科 研究室ホームページ http://npsy.umin.jp/ 奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 ソーシャル・コンピューティング研究室ホームページ http://sociocom.jp/publication.html 脳・生活・人生の統合的理解にもとづく思春期からの主体価値発展学 http://value.umin.jp/ 脳・生活・人生の統合的理解にもとづく思春期からの主体価値発展学 http://value.umin.jp/ ソーシャル・コンピューティング研究室ホームページ http://sociocom.jp/publication.html 熊本大学大学院生命科学研究部 先端生命医療科学部門 分子脳科学講座ホームページ https://www.molbrain.com/</p>

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	文東 美紀 (Bundo Miki) (00597221)	熊本大学・大学院生命科学研究部(医)・准教授 (17401)	
研究分担者	能智 正博 (Nochi Masahiro) (30292717)	東京大学・大学院教育学研究科(教育学部)・教授 (12601)	
研究分担者	岡本 泰昌 (Okamoto Yasumasa) (70314763)	広島大学・医系科学研究科(医)・教授 (15401)	
研究分担者	荒牧 英治 (Aramaki Eiji) (70401073)	奈良先端科学技術大学院大学・先端科学技術研究科・教授 (14603)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計5件

国際研究集会 International Symposium, Personalized Value: Interdisciplinary Approach	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 International Symposium on Adolescent Health and Personalized Value	開催年 2018年～2018年
国際研究集会 国際思春期科学ワークショップ・特別講演	開催年 2017年～2017年
国際研究集会 The 6th BESETO International Psychiatry Conference	開催年 2017年～2017年
国際研究集会 社会構築主義の視点と臨床の現場 Vivien Burr教授をお招きして	開催年 2018年～2018年

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------